

会長のページ	高齢者免許	河野 雅行	3
日州医談	永遠の今でつながる地域包括ケアシステム ～地域における面としてのかかりつけ医機能を発揮して～	金丸 吉昌	4
随 筆	人との出逢い：恩師の思い出 その1 小学校から中学4年まで	森 憲正	6
	“正しい資質”とは？ What's “The Right Stuff”？	北村 和生	8
	「くらきより くらき道にぞいりぬべき はるかに照らせ 山の端の月（和泉式部）」と Advance Care Planning (ACP) または人生会議	濱川 俊朗	10
特 集	宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業 第9回 50周年記念プレイベント 市民公開講座が開催されました！	東 美菜子	12
エコー・リレー (589)		高村 一紘, 児玉 隆志	15
メディアの目	井戸端会議をしよう	神屋由紀子	16
身近なお困りごと相談室		高山 桂	17
国公立病院だより	国立病院機構宮崎東病院	伊井 敏彦	24
宮崎大学医学部だより	宮崎大学医学部附属病院－手術部－	矢野 武志	26
専門分科医会だより	整形外科医会	川越 正一	27
診療メモ	アイフレイルについて	石合 理崇	72
宮大医学部学生のページ	早期大学病院実習の成果	大道 モモ	74

あなたできますか？（令和5年度医師国家試験問題より）	14
宮崎県感染症発生動向	18
各郡市医師会だより（延岡市医師会，日向市東臼杵郡医師会）	20
九州医師会連合会第416回常任委員会	28
日医インターネットニュースから	30
医師協同組合だより	32
医師国保組合だより	34
会員の異動・変更報告	38
ベストセラー	40
理事会日誌	42
県医の動き	48
ドクターバンク情報	49
行事予定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
あ と が き	80

お知らせ	地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	11
	第55回全国学校保健・学校医大会の参加申込について	29
	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	41
	令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	47
	日州医事へのご意見・ご感想	53
	第8回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	57
	郡市医師会への送付文書	76
	医療勤務環境改善支援センター	78
	日州医事原稿募集のお知らせ	79
ご 案 内	宮崎県医師会親善ゴルフ大会	71

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

コスモス

ずいぶん前にフィルムカメラで撮影した写真です。フィルムカメラでは撮ったその場で画がわかりません。現像した際に撮影時の記憶が呼び起こされ、まるで手紙のようです。タイパ、コスパという言葉が当たり前となりました。ちょっと立ち止まって足元の花を見る、そんな贅沢を忘れてはいけないと思います。

宮崎市 まつもと けん ご
松 本 健 吾

会長のページ

高齢者免許

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

報道によれば高齢者の交通事故が増えています。世論では免許返納の奨励と返納後のさまざまな特典を挙げています。私も対象年齢となり免許の返納を考えましたが、現住地では車がなければ日常生活に困ります。遠出は勿論、近場の買い物や通院もできません。割引の特典はあってもタクシーは来ないし、鉄道やバスは駅や停留所までが遠く便数も少なく目的地までの乗り換えが面倒です。しかも目的地付近に路線があるとは限りません。自転車による移動では体力の問題とともに転倒の危険も増します。結局、運転を続けるしかない。そこで家族の反対を押し切

って先日運転免許の更新を受けました。

手続きは若いときのように簡単ではなく、高齢者特有のいくつかの関門があります。まず、本更新に先んじて指定された自動車学校で予備検査を受けなければなりません。予備検査では一般的な更新講習や視力・聴力検査の他、特別に認知機能の検査と実際に練習コースを走る実技検査が必須です。視力などは衰えが自分でもわかりますが、認知度は自分では気づきません。他人から見れば異常言動があるのかもしれませんが。誰も指摘してくれないのがかえって不安です。久しぶりに答案用紙に向かい少し緊張しながら簡単な計算能力と記憶力を主体とした認知機能検査を受けました。これはなんとかクリアして実技検査も無事通過し、半日を要してようやく合格の判定を受けました。後日その合格証明書を持参し県運転試験センターで本更新を受ける必要があります。

本更新では再度の視力検査（動体、夜間など）で難があり、残念ながら半世紀保持していた大型免許を返納して普通免許のみとなりました。若いつもりでいても誰にでも経年変化は訪れます。その症状として感覚機能低下や運動能力が落ちるのは避けがたいことです。深刻なのは認知能の低下です。ある説によれば、将来の高齢者のうち6人に1人は認知症になるそうです。高齢化が進んでいる医師も例外ではありません。社会問題となっている認知症にともなう交通事故のみではなく、認知症によると思われる医療事故が多発するようになれば、運転免許と同様に医師免許の更新や自主返納を奨励されるようになるかもしれません。これは重要な問題で、そうなれば若い医師の少ない地域では医師不足がますます深刻になります。その他諸々の免許も同様の問題を抱えているのではないのでしょうか。運転免許に関しては、将来は指示のみで安全に運んでくれる全自動運転車の開発が望まれます。それにつけてもつくづく思いました。歳はとりたくないものです。

（令和6年8月15日）

日州医談



永遠の今でつながる地域包括ケアシステム

～地域における面としてのかかりつけ医機能を発揮して～

宮崎県医師会 副会長 ^{かね}金 ^{まる}丸 ^{よし}吉 ^{まさ}昌

はじめに

2025年の医療提供体制を見据えた3つの改革（医師偏在対策・働き方改革・地域医療構想）ならびに地域包括ケアシステムの深化・推進が図られている。

医師偏在対策

初期臨床研修医のマッチングの検討、専攻医のシーリングなど、医師偏在対策が実施されてきている。各都道府県は医師偏在指標に基づき医師確保計画を策定し、この計画の実施を通して偏在対策を進めている。宮崎県は九州で唯一の医師少数県になっている。県、大学、県医師会がオール宮崎で医師確保に取り組んでいる。地域枠の入学定員の調整ならびにキャリア支援を充実することで医師確保、地域偏在・診療科偏在対策に取り組んでいる。令和4年度より宮崎大学医学部地域枠の定数が40名になった。また地域医療介護総合確保基金を活用して、専門研修資金貸与事業などで支援しながら特定の診療科の医師養成にも力を入れている。現在は産科、小児科、総合診療科を対象としているが、脳外科、外科も対象となるよう要望している。大学の医局に専攻医が多く入り、医局での専門領域の医師養成と医師派遣機能が適切に発揮されれば、地域偏在、診療科偏在が少なからず解決できるのではないだろうか…。

医師の働き方改革

平成16年度から始まった新医師臨床研修制度

により研修医は労働者に位置付けられた。20年が経過し、現在の医療現場での中堅医師はこの制度を経た医師たちである。この4月から働き方改革が医師にも適用され、労働時間の上限規制が始まった。医師の健康を守ること、医療の質と安全を確保すること、地域医療が崩壊しないこと。これらを満たすように働き方改革の準備が進められてきた。しかし救急の現場、特に大学からの派遣で成り立っている救急病院などで医師確保が厳しくなり、救急を制限しなければなくなる所も出てきた。宮崎県でも、宮崎大学からの派遣で維持してきた夜間の急病センターなどの運営が極めて困難な状況になりつつある。また、少数の医師で救急を担当している診療科においてもその対応が厳しく、救急を制限しないと働き方改革に対応できなくなっている。国民の理解が得られるのだろうか…。働き方改革実施後の検証が必要ではないか。

地域医療構想

地域の実情に応じた医療提供体制の確保に向けて「医療計画」が策定され、疾病・事業ごとに必要となる医療機能や、各医療機能を担う医療機関を定めるなどして、医療連携体制の構築に向けた取り組みが進められている。また、2025年の医療需要と「病床数の必要量」について医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに推計し「地域医療構想」として策定。地域医療構想調整会議において、地域の実情に応じた病床の機能分化と連携などの協議

が進められている。将来の医療需要を見据えた病床機能の分化・連携、外来機能の明確化、外来機能の分化・連携、外来医療のかかり方に関する国民の理解の推進、かかりつけ医機能の強化、かかりつけ医機能報告のあり方など政策が進められている。また「新たな地域医療構想等に関する検討会」が設置され、2040年を見据えた新地域医療構想の検討が始まっている。

1961年に国民皆保険制度が始まった。全国の診療所はかかりつけ医として国民から選択され、必要な医療の提供を今日まで実践してきている。当初は医学・医療の発展途上であり、今ほど介護分野が大きな領域でもなく、医療を通して介護領域を含めて対応してきた。ここで大きな役割を果たしてきたのがかかりつけ医療機関でもある有床診療所だったのではないだろうか。医学が発達し、高度化、専門分化し、また介護保険制度も始まり、医療提供体制に大きな変化を生じてきた。国民も高度・専門医療に期待し、かかりつけ医の選択が分かりにくくなってしまい、また運営の厳しさからも全国の有床診療所が激減してきている。このような中、かかりつけ医の選択が分かりやすくなること、かかりつけ医機能の強化、救急から回復・慢性・生活期へと円滑な関係機関連携の構築、二次医療圏での「治し、支える医療」を中心とした地域完結型医療、地域包括ケアシステムの構築が図られてきている。あらためて有床診療所の再評価、運営が持続できるための診療報酬上の評価が必要ではないか。

地域包括ケアシステム

医師偏在対策、働き方改革、地域医療構想が進む中、地域包括ケアシステムの深化・推進が図られている。市町村との連携、地域共生社会の実現に向けた取り組みも重要になってくると感じている。今回の診療報酬・介護報酬改定で在宅医療、医療・介護連携が評価された。かか

りつけ医機能が果たす役割がますます大きくなってきている。一つの医療機関だけでなく、地域における面としてのかかりつけ医機能を発揮していくことが地域包括ケアシステムの深化・推進の鍵を握っているのではないか。

おわりに

我々は一人ひとりそれぞれの主観の世界に生きている。一人ひとり生きている世界が違う。共感することで相手の世界を感じることができるのではないだろうか。鍵は「心」かもしれない。心は目の前にあるが気をつけないとデータの世界、バーチャルの世界へ行っているのではないかと感じる。

我々がいるのはこのたった今、永遠の今しかない。過去にいたのではなく、未来にいたのではなく、ただの今にしかない。この大切な永遠の今を重ねていった後が過去になり、今を重ねていく先が未来になっていく。そう考えるとあるのはこのたった今、永遠の今しかない。この今も関係性によって成り立っていると捉えれば感謝しかないかもしれない。いろいろな関係性の中で物事が成り立っていることを見失わないようにいたい。お互いの感謝、信頼を土台に患者・医療者・関係者間の良好な関係性が成り立つのではないか。お互いの今、永遠の今にしながら感謝の気持ち、信頼の気持ちで対峙していけるかが他（多）職種連携、他機関連携の鍵となるのではないか。そのうえで相手の立場になりきって、我が事のように感じて対応することが他（多）職種協働できるための最も基本になるのではないか。このような感性を核としながら、共感、協働、そして共生社会、地域包括ケアシステムの深化へと進むことができるのではないだろうか。

随 筆

人との出逢い：恩師の思い出
その1 小学校から中学4年まで宮崎市 ^{もり}森 ^{のり}憲 ^{まさ}正

世界総人口は80億4,500万人（国連人口基金（UNFPA）による）、総務省統計局による日本の総人口は1億2,409万人、（2024年1月1日現在の概算値）といわれている。この中で個人の生涯で出逢うことができる人は極々一部の人に限られている。しかも出逢える機会はほとんどが偶然、いわゆる“ガチャ”である。人生には予期せぬ出逢いが待っている。そしてこの偶然の出逢いがその後の生き方に大きく影響している。

小学生時代

1934（昭和9）年4月、来民町立来民尋常高等小学校に入学した。当時、唯一の義務教育課程であった。4人の先生に担任していただいた。

1年生のときの担任は徳村モモエ先生。小学校1年時は男女共学であった。筆者が男女共学を経験したのは唯一この小学1年生のときだけであり、生涯を通じて出逢えた女性の先生も徳村先生だけである。級友は町立幼稚園からの幼馴染が多く、気を遣うことは少なかった。当時の教科書は国定制（明治36年～昭和20年）、いわゆるサクラ読本で、「サイタ サイタ サクラガサイタ」、「コイ コイ、シロコイ」で始まったが、次は「ススメ ススメ ヘイタイススメ」と続き、早くも軍国主義の洗礼を受けた。しかし先生は優しくかった。登下校の際、必ず校門で立ち止まり、奉安殿に向って最敬礼をするようにと厳しく教えられた。

2年時の担任は緒方時雄先生。日頃の会話の表現が大袈裟で有名であった。隣の村にあった祖父の家に行く途中に先生の家があり、使いに遣られるときはよく途中で立ち寄り、おやつに有り付いて、道草を食ってお邪魔していた。後に次姉の結婚の仲介役をされたりして、家族的にもお世話になった。2年生の修身では、「テンノウヘイカハ、ワガ大日本テイコクヲオサメニナル、タツトイオンカタデアラセラレマス」「私タチガ、大日本帝国ノシンミント生マレテ、カヤウニアリガタイオンカタヲイタメイテ

キルコトハ、コノ上モナイシアハセデゴザイマス」と教えられた。しかし遊び呆けていたせいとか、幸せであった記憶はない。

3、4年時は古市偉一郎先生。徴兵で海軍に入り、下士官となって帰って来られたばかりで、覇気満々で生徒もその覇気に乗せられて元気のいいクラスだった。詩吟や書道の教育に熱心で、熊本市で行われていた競書会に連れて行ってもらい、入選のメダルをいただいたことを憶えている。腸炎で長く欠席したときは、見舞いに来て腹部を撫でていただいた。夏休みには隣村の川に魚釣りに連れて行き、釣れないときは水泳の先生でもあった。筆者の医学部学生時代に肝がんで入院中の先生を何度か見舞いに行ったが、入院中に逝去された。3年生修身教科書には二宮金次郎が取り上げられていた。薪を背負い、歩きながら本を読む勤労・勤勉の象徴であったが、スマホ社会になると尊徳先生も“昔尊徳、今スマホ”と危険防止の標語となり果て、働き方改革の現在では見向きもされない。

5、6年時は長浦昇先生。小学5、6年生になると、切実な問題は中学校への進学であった。当時の中学校は現在のように義務制ではなく、進学率も低かった。家庭の逼迫した経済状況から進学は困難と思われたが、合格すれば育英会などの方法があるからと先生に勧められて、先生のご自宅で行われていた受験に備えた夜学に誘っていただいた。感謝の他ない。5年生3学期の昭和39年1月15日、横綱双葉山が安芸ノ海に敗れて連勝が69で止まった。当時、家にはラジオもなかったので、近所の酒屋に上がり込んでラジオを聞いていたが、その興奮は翌日の教室に持ち越されて友達の手振り手振りの解説付きで盛り上がった。

川口英明校長。小学3年生のとき、校長として赴任して来られた。ちょび髭を生やし、姿勢のよい先生という印象が残っている。川口校長は伯父（母の兄）の友人でもあり、困窮していた母子家庭を心配して、時折立ち寄っては励ましていただき、母は感謝していた。川口校長に

よって始められたのが歩行訓練と乾布摩擦である。歩行訓練は寒稽古に組み込まれて、歩行寒稽古の総仕上げとして5,6年生の50km歩行寒稽古納め会が恒例となった。この寒稽古納め会では早朝に出発し夕暮れに帰着する強行軍で、昼食は歩きながら握り飯を頬張った。小学5,6年生に50kmも歩かせるのは無理ではないかとの批判もあったが、川口校長は強行された。5,6年時ともに落伍することなく歩き通すことができて、体力的、精神的に自信がつき、いい経験になっている。乾布摩擦は中学生時代も継続し、海軍兵学校では日課として実施していたので、習い性となり、現在に至っている。奇しくも川口校長の長男、和夫君は旧制五高の一年から新制大学となった熊本大学理学部乙へ入学して来て、医学部でも同級生となり、一緒に卒業した。奇縁である。

中学生時代

昭和15年4月、熊本県立鹿本中学校（当時の中学校修業年限は5年制）に入学した。一学年200名で、同じ小学校から進学したのは10名足らず。他は近隣町村の小学校から入学して来た名前も知らない者ばかりだった。急に世界が広がったような感じであった。

当時、文部省は入学試験による過度の受験準備のため健康を害することを懸念して、筆記試験を辞めて口頭試験と面接、内申書による選抜法を採用するよう通達していた。そのため、各教科の先生から“この学年は出来が悪くて最低だ”と頭ごなしに言われ放しで、悔しい思いをしたことがしばしばであった。支那事変から第二次世界大戦に突入した時期で、あらゆる面に軍隊式の訓練を模して、過酷な指示・命令、体罰は日常茶飯事であった。教師の多くは杖、根鞭、竹刀などを持って教室へ来ておられた。指示棒としてではなく、生徒の頭を叩くための道具であった。体罰として叩く、殴る他に、運動場を走らせる罰もあった。中学生になると知恵がつくもので、罰として運動場10周を命じられると教室を飛び出した後、校舎の陰に隠れて適当な時間休んだ後、さも懸命に走って来たかのように息急き切って教室へ帰って来る生徒もいたが、先生の方もさるもの、背中に手を突っ込んで汗ばんでいないことを確かめ、頭を叩いた後、再度運動場10周を命じていた。教師と生徒の化かし合い、よく言えば知恵比べであった。

授業担当の教師は専門教科別に代わっていたが、1年間を通して同じクラスの面倒を見るクラス担任が決められていた。中学時代の教師には皆渾名（ニックネーム）が付いていて、先輩

から代々引き継がれ、生徒間では渾名で呼んでいた。

1年時の担任は山内俊爾先生（ケッケさん）、数学担任で間違った回答をすると“ケッケ”と声を出して笑われていたところからついた渾名だと上級生から教わった。若くて病気がちのため欠勤される日が多かったが、先生も幼時に両親を病気で亡くされたと言って励まされ、特に親近感を持っていた。

2年時の担任は河田武則先生（ゴラさん）、渾名の由来は不詳。英語担当であったが、洋楽が趣味でレコードを収集しておられた。日曜日にご自宅へ遊びに行くたびにベートーヴェン、チャイコフスキー、モーツァルトなどのレコードを解説付きで聴かせてくれた。洋楽開眼の師でもあった。授業中、洋楽や甲子園の中等学校野球大会の話題に脱線するのが楽しみであった。

3年時の担任は森輝次郎先生（ベガさん）、ニックネームの由来は不詳。英語担当であったが、年齢のせいか古典的な印象が強かった。

4年時は内田寧磨先生（馬さん）、面長で馬に似ているところから付いたニックネーム。国語、漢文担当。お寺の住職でもあり、故事に因んだ教訓、精神面の訓話が多かった。受験に出かける前に教えていただいた呼吸法は調道丹田呼吸法に由来するもので、おかげで落ち着いて受験できた。その呼吸法は現在でも実行している。復員後もたびたびご自宅に伺い、教えを乞うた。

徳丸平作先生は数学担当。担任ではなかったが父の友人でもあり、特に目をかけていただいた。受験終了後の4年生の夏休みにはご自宅に泊り込み、微積分の手ほどきをしていただいた。この経験は兵学校入校後、役に立った。

多感な中学生時代に受けた教師の影響は大きい。中学2年生のときに日米戦争へ突入して、敵性語としての英語教育が軽視、排除される風潮にあったが、担任の先生のおかげで英語の授業はかえって強化され、そのうえに洋楽などの手ほどきを受けることができたのは幸いであった。その影響は大きかったと感謝している。

昭和16年12月8日、真珠湾攻撃で日米戦争が始まったときは、生徒全員が武道場に集められてニュースを聞かされ、更なる学習、訓練に励むよう訓示を受けた。自己の帰属する組織、国家への忠誠心の涵養、軍事訓練を模したスパルタ教育が強化された。過酷な指示・命令、体罰は日常茶飯事であった。しかし、中学生時代にクラス担任の教師から体罰を受けた記憶はない。

随 筆

“正しい資質”とは？
What's “The Right Stuff”？日南市 北村胃腸科眼科 ^{きた}北 ^{むら}村 ^{まさ}應 ^お旺 (和生)

1954年（昭和29年）うま年生まれの私は、今年文字どおり馬齢を重ねて70年、開業30年の節目を迎え、めでたくも日州医事から「古希」を記念しての寄稿依頼が届いた。今年は末っ子の長男が九大附属病院研修医となり、3月に倉敷中央病院循環器内科在職中の次女が、6月には宮大呼吸器内科在籍中の長女が相次いで結婚した。思えば、若くして本邦初の医学校：済生学舎を出て西園寺家の侍医を務めた曾祖父から4代目に当たる子どもたちは、素晴らしい指導医や同僚の先生方のお陰で“The Right Stuff - 正しい資質”を受け継ぎ、いたずらに馬齢を重ねた私なんぞよりよほどよい医師に成長しつつある。感無量だ。そこでこれを機に、これまで撮り溜めていて一度も観たことがなかった膨大な量の家族動画をディスクに編集しようと重い腰を上げた。もう過去を振り返ってもいい頃合いだ。というか時間がない。

しかし、too late! 埃にまみれていた映像機器を引っ張り出し、午前1時、2時起きで罰ゲームならぬディレクター業に精を出したのだが、時代遅れの接続法を駆使してダビングを試みるも、言葉では言い尽くせないトラブル続き。PC編集ソフトも宝の持ち腐れだ。ただ、苦労して軌道に乗せるとこれがなかなか楽しい。親バカと分かっているけど、子どもたちの可愛い姿に何度も感激し、妻の輝く美貌に「こりゃ惚れるわな〜」と思わず見とれ、このイケメンは俺？と時間を忘れて引き込まれてしまう。あっという間の30数年、技術革新の速さをあらためて実感した。映像に先行して、数千曲に及ぶ音楽ファイルの整理も始めた。半分は映画からとったもので、メディアプレーヤーを使ってコッコツとタイトルを付け、ジャンルごとに分類し、ようやく完成と思った途端、書き込んだ大部分のタイトルが突然消え失せてしまった。シ

ョック→怒り→失望。メディアプレーヤーの容量オーバーが原因のパンクだろう。そもそも楽曲の編集を始めたのは車の買い替えがきっかけだ。静粛性が気に入って、EVの購入予定が結局PHEVに落ち着いたのだが（「たそがれワルツ」2022.12月号）音源はUSBメモリーオンリー。このちっちゃな器具に何千曲も入るのかと思うと感動を禁じえないが、編集作業には今も手を焼いている。

3月中旬、先陣を切って次女（「クリボッチの会」2017.3月号）が大阪で結婚式を挙げた。容姿、性格ともにattractiveで、高齢者からの信頼も厚い彼女は頑張り屋だ。花婿は同じ病院勤務の熱心心臓血管外科医。二人とも過労死寸前で式に臨んだが、大いに盛り上がった。アルコールに加え焼きの回った私が最後に挨拶した。チト長めの7分40秒。若き日の学会発表以来、久々に何も見ずにしゃべりおおせ、列席者が感動してくれたことが嬉しかった。そして6月、福岡で長女（「アラクノハンティング」2012.9月号で私の似顔絵を描いてくれたが、PCの記事検索では似顔絵が出てこないのが残念）の結婚式。式場が職場から遠く、双方の近親者と近い友人が中心の心温まる式になった。幼いころから医者になると公言し、親元を離れて県外の全寮制中高一貫校に進学、ストレートで医師になった彼女は、小さいころから妹や弟の面倒をよくみてる穏やかな性格で、周りの人たちに癒しと安心感を与えられるよい医師になった。お相手は緩和ケア専門医を目指す奇抜な青年。今後、急激な高齢化が進む我が国には必要な領域に違いない。

さて私の日常診療では、長い年月の間に気が付けば患者さんの顔ぶれも随分と替わった。年配の患者さんの中には「先生とお会いして話をすると元気が出ます」と言ってくれる方が何人

もいて診療の励みになる。私の大切な仕事の一つは患者さんに元気を処方することだ。そのためにはこちらが元気でないと始まらない。このところ、朝起きるとトイレで「グレイマン」シリーズ（M.グルーニー）を少しずつ読む。面白すぎてフン切りがつかずに困ることもあるが、まずは体にアドレナリンを巡らせてルーチンのキントレをこなし、朝の仕事に臨む。ライバルは永吉だ（夏になると妙に聴きたくなる「時間よ止まれ」を歌っている）。私より5つも年上のくせにガラガラしてやがる。ビッグマウスだけでないのは体つきとパフォーマンスから知れる。身長では及ばないが心意気では負けないゾ…ハハ。

日中は元気な私だが、夜が訪れるとカベルネやピノノワール（夏はシャブリカソーヴィニョン）のせいでオツムが虚血状態に陥り、コテッと意識を失ってしまう。すでに映画の上映は休日昼間になっており、平日は一話1時間前後の海外ドラマを観るのだが、何度もリピートが必要になる。最近では「DOC I & II」が最高だった。かつて散策した（「我が心のイタリア」2014.2月号）ミラノ大聖堂近くの総合病院内科が舞台。ERや外科系でなく内科医が主役なのが斬新で、しかも美男美女ぞろい。医師にとって“正しい資質”とは何かを考えさせる秀逸な人間賛歌だ。患者に寄り添い、言葉に耳を傾け、診断と治療に最善を尽くす：古今東西、言葉にすれば当たり前のことなのだが…。SFなら「巨獣目覚める」が一押し。人類が太陽系の惑星に植民するようになる近未来の設定だ。地球人、火星人、外惑星連合に分かれて反目しあっている。人類っていつまで経っても互いに争う種族なんだなあ。原作も読んだ。ドラマの展開は少々迷走気味だが、ヴィジュアルも音楽もgood！一緒に観て読んだ妻が「巨獣ってどこにもいなかったね」と言ったのには呆れたが…確かにゴジラは出なかったわな。

「三体」（劉慈欣）は、生存、倫理、愛を巡る壮大なSFだ（私が嫌いなのは中国共産党で、中国人に偏見はない）。ドラマ化されシーズン1が視聴できるが、これはプロローグ。原作（「三体」「黒暗森林」「死神永生」）をすべて読了したが、地球外知的生命体が地球の存在を知ったとき、どのように振舞うか？ 人類の歴史が証明している。いみじくも高杉晋作は言った。

イギリスが真の文明国なら、清の人々をあのようには扱わない。開国すれば日本とて同じだ。攘夷あるのみ！長州は勝ち目のない4か国戦争をおっぱじめたのだ（「我が友、高杉君を語る」2016.3月号）。時は今、2017年、太陽系黄道の真上から初めての恒星間天体“オウムアムア”が飛来（正体は現在もウヤムヤ）。2020年、中国は直径500mの超弩級電波天文台「天眼」を稼働させた。本書の初版は2006年、陽子を多次元展開して地球に送り込む大風呂敷に驚嘆し、宇宙＝暗黒森林論に戦慄した。人類は隣人同士でさえ、わずかな領土の帰属を巡って殺し合いを続けている。遅きに失したが地球の情報を宇宙に送出するのは愚行だ。天の川銀河の片田舎でひっそりと文明を育めばよい。

それにしても量子力学に始まり超光速技術、多次元宇宙から宇宙の終焉まで、時の始まりから170億年のスケールで描かれた宇宙観は壮大だ。ただ、ここまで未来を描きながら“意識のハードプロブレム”（前出「たそがれワルツ」）に言及がないのは画龍点睛を欠く。最新の脳科学のリサーチを怠ったか？ 心＝欲望や愛を含むーが量子の世界の出来事だとすれば、物語は大きく変わったことだろう。小説ではないが「歴史に残る外交三賢人」（伊藤貫）も良書だ。現実の政治のリアルが、バランス・オブ・パワー外交の神髄が、ここに描かれている。伊藤博文や大久保利通のメンターはビスマルクだった！戦後の米国追従外交を続ける政治家たちにも一考を促す内容だ。

読書や音楽、映画やドラマの話を始めたらキリがない。内容に宇宙、量子力学、意識や歴史が絡んでくれればなおさらだ。なんだか尻切れトンボになったが、いつの間にか制限字数を超えてしまった。最後に自作の標語を一つ。

“川（歴史）を上れ、海（知識）を渡れ、
空（未知への浪漫）を見よ”

ふと想う 悔いひとつなく

悦びの 山を築けたろうか

くしゃくしゃに 嬉し泣きする

かげりない 河を抱けたろうか

愛する人の瞳（目）に

俺の山河は 美しいかと

小椋佳「山河」より

随 筆

「くらきより くらき道にぞ いらぬべき はるかに照らせ 山の端の月（和泉式部）」と Advance Care Planning（ACP）または人生会議

宮崎市 潤和会記念病院 ^{はま}濱 ^{かわ}川 ^{とし}俊 ^{ろう}朗

2024年度のNHK大河ドラマ「光る君へ」は、平安中期の女流作家である紫式部の物語である。同時代に清少納言、赤染衛門、和泉式部などの才女が活躍しており、平安中期の華やかなイメージを形作っている。

和泉式部（978年ごろ－没年不明）は情熱の歌人とも言われ、奔放であったためか紫式部より「恋文や和歌はすばらしいが、素行には感心できない」、藤原道長からは「浮かれ女」などと批判的に評価されている。しかし一方では、仏教に深く帰依し性空上人（910－1007、天台宗、霧島山や背振山などでも修行した）に師事していたという一面もある。和泉式部が残した歌の中でも特に有名なものが、「くらきより くらき道にぞ いらぬべき はるかに照らせ 山の端の月」である。

角川『全訳古語辞典』は、「暗き」とは、煩惱をいう。「山の端の月」とは「真如の月」（＝不変の真理）をさし、その体现者である性空上人を指している。迷い多き自分の煩惱を、仏法の真理の力で取り払ってほしいと願うのである」と説明している。また新潮日本古典集成版の現代語訳は、「私はいま闇の世界を冥府に向って進んでいるようです。どうかお上人様、はるか彼方からでも、あの山の端の月のように、

私の足もとを照らす真如の光で、私をお導き下さいませ」である。娘の死など不幸や社会的問題が原因で、仏教に傾倒していったことは想像に難くない。

宮崎市国富町法華薬師寺は日本三大薬師寺（諸説あり）の一つとして知られている。伝承によると和泉式部が業病の治療にこの寺を訪れていた。境内には和泉式部の胸像がある。業病とは前世の悪業の報いがかかるとされた難病のことで、多くは難治の皮膚病のことらしい。麻疹やハンセン病、天然痘なのかもしれない。法華薬師寺で読経や水行などを行ったが病は治らず、谷底に身を投げた。谷底で死にきれず意識を取り戻した式部の前に薬師如来が現れ病を治した。そして式部は京へと戻った。この物語とは別に、式部が京へ帰る途中に薬師如来が変身した皮膚病を煩った老人の親切を拒否し、再度病となり西都市鹿野田神社において43歳で亡くなり、近くで茶毘に付されたと言う伝承もある。また、佐土原町久峰観音には和泉式部が奉納したとされる鏡がある。

以上のような伝承は、東北から九州の各地にあり、「罪（業病）の救いのため各地を行脚する」という共通点があるそうだ。京都に初代住職は和泉式部だったと伝えられ、和泉式部寺と

も呼ばれる誠心院がある。この寺は説話を語りながら全国を巡り、仏教を広めて歩いた唱導師の拠点だった。話のあらすじは、前世の悪行が原因で業病となる。一心に仏の救いを求めるが、なかなか叶わない。死を決意すると薬師如来に助けられ病は完治する。しかし、再度その信心を試されるが過ちを犯してしまう。「浮かれ女」と評されていたので、このような話の主人公になったのかもしれない。または、あの信心深い和泉式部ですら揺らぐ気持ちがあると言いたいのもかもしれない。ここで「くらきよりくらき道にぞいりぬべきはるかに照らせ山の端の月」の歌を思い起こしてみると、私は後者であると考えている。この説話により、人間は誰しも煩惱があり意志や心情は常に揺れ動くものと、当たり前であるが認識できる。

さて、Advance Care Planning (ACP) は人生会議と言われ、診療報酬改定の対象にもなり、病院として取り組むべき重要課題である。目標として「人生の最終段階における適切な意思決定支援の推進」とある。しかしながら具体的なことや細かいことは分かりにくい。さまざまな混乱を招いており、中にはDNAR (Do Not Attempt Resuscitation) を入院患者全員から取ることか

と極端な誤解もある。

平成4年度から5年おきに国民を対象とした「人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査」がアンケート調査されている。令和4年度は国民の72.1%がACPを「知らない」と回答し、医師でも「よく知っている」と回答したのは45.9%であった。日本医師会によると「ACPとは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みのことです」と提言している。今までおぼろげにしてきたことかもしれない。非常に重要であることは医療に携わるものとして理解できる。しかしACPに関して、その本質の理解を深め現場に落とし込んでいくには、多少時間がかかるように思われる。特に注意が必要なのは「心身の状態に応じて意志は変化しうるため繰り返し話し合うこと」とされている部分である。つまり、医療者は病に悩む本人や家族とACPを話し合う際に、暗い道に入り込むような不安な気持ち、宗教的な救済を求める心や揺らぐ心情を十分理解し、慎重にコミュニケーションを繰り返し進めることが重要と考える。

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、**5月1日から10月31日**までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

特 集

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業



開講 50 周年



第9回 50周年記念プレイベント 市民公開講座が開催されました！

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 あずま 東

み な こ
美菜子

開講50周年記念事業の一環として、令和6年8月4日JA・AZMホールにて医学部市民公開講座が開催され、お子様から高齢の方まで、多くの参加者が講演や体験ブースで1日楽しめました。

【講演会】

心房細動や虚血性心疾患、心臓血管外科の手術、血栓形成、ロコモ予防など、さまざまな内容の講演があり、参加者は熱心に耳を傾けました。途中、体操やダンス、クイズも行われ、皆さん楽しく参加されました。



総勢100名を超えるスタッフ



心リハ♡みやざき



講演（渡邊 望先生）



講演の合間の体操

【スペシャル健康講座】

工藤公康氏（福岡ソフトバンクホークス元監督）が「野球と私の人生」と題し講演され、幼少期からプロ野球時代までの工藤元監督のご経験の他、野球を通して得られた仲間、継続し諦めないことの大切さ、プロとしての意識など、さまざまなお話をしてくださいました。

講演会の後には、みやざき犬とともにサイン色紙抽選会も行われ、参加者は工藤元監督とのひとときを楽しみました。



帖佐悦男病院長とともに
ロボット体験をされる工藤元監督

【体験ブース】

各体験ブースでは、健康度チェックや救急・外科手術・病理診断・画像診断などの診療体験、医学部（医学科・看護学科）入試説明会など開かれ、多くの方が参加されました。



手術体験



画像診断体験

宮崎大学公式YouTubeチャンネルMyaoh.TVに宮大NEWS「医学部主催 市民公開講座開催」をUPしました。

URL：<https://youtu.be/LlruchWjUgc>



下記の50周年特設サイトからもアクセスできます。ぜひご覧ください。

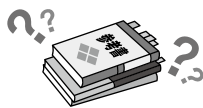
宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学
開講50周年記念事業ホームページ

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/50thanniversary/>

記念事業へのご寄付に、何卒ご協力お願い申し上げます。



開講50周年記念事業
ホームページはこちら



あなたできますか？

—令和5年度 医師国家試験問題より—

(解答は28ページ)

1. 神経性過食症〈大食症〉で正しいのはどれか。
 - a 自己肯定感が高い。
 - b 過活動になることが多い。
 - c 肥満に対する恐怖心はない。
 - d 自己誘発嘔吐と下剤乱用を反復することが多い。
 - e 食事をコントロールできるという感覚は保たれる。
2. 妄想はどれか。
 - a 「床に小さな虫が沢山見えます」
 - b 「母親の声で名前を呼ばれるのが聞こえます」
 - c 「盗聴器を体に埋め込まれて監視されています」
 - d 「腹の中にあるゴムの球が動き回るのを感じます」
 - e 「何を食べても砂を嚙んでいるようでおいしくありません」
3. 社交〈社会〉不安障害の訴えで特徴的なのはどれか。
 - a 「MRI検査が怖い」
 - b 「世間の人々から嫌われている」
 - c 「明日にも何か大変なことが起こる」
 - d 「知らない人と会うと非常に緊張する」
 - e 「外出時、自宅に鍵をかけたか数十回確認する」
4. 在宅勤務で正しいのはどれか。
 - a 労働者は在宅勤務をする権利を有する。
 - b 在宅勤務中は健康診断を受診しなくてよい。
 - c 在宅勤務中の労働時間は労働者の裁量である。
 - d 在宅勤務中の負傷は労働災害補償の対象である。
 - e 在宅勤務は新型コロナウイルス感染症の流行によって始まった。
5. 我が国において、血液透析に比較して腹膜透析で正しいのはどれか。
 - a 患者数は少ない。
 - b 食事制限は厳しい。
 - c 自宅での施行は困難である。
 - d 動静脈シャント造設を要する。
 - e 不均衡症候群を起こしやすい。
6. 標準予防策が適用されている患者に対し、医療従事者がディスポーザブル手袋を**着用せず**に取り扱いえるのはどれか。
 - a 患者の眼鏡
 - b 創部にあてたガーゼ
 - c 便が付着したオムツ
 - d 口腔ケアに用いたブラシ
 - e 喀痰が付着したティッシュペーパー
7. 共同意思決定〈シェアードディシジョンメイキング〉の説明で正しいのはどれか。
 - a 医療者が最善と考えた方針を説明し同意を得る。
 - b 医療者が提供した選択肢から患者が選択する。
 - c 医療者と患者がともに最善の方法を探る。
 - d インフォームド・コンセントと同義である。
 - e 患者の経過が確実に予測できる場合に適用している。
8. 持続可能な開発のための2030 アジェンダ(SDGs)に**含まれない**項目はどれか。
 - a 貧困撲滅
 - b 格差の是正
 - c 遠隔医療の推進
 - d ジェンダー平等
 - e 気候変動への対応
9. 38歳の女性。手に菌がついてしまっているのではないかと心配で仕方ないことを主訴に母親に伴われて来院した。専門学校卒業後、20歳から美容師となり、30歳で美容院を開業している。その頃から菌がついていると言って頻回に手を洗うようになり、数年前から家族の菌も恐れて家族を部屋に入れなくなった。最近は仕事もできなくなり、自分自身の入浴に2時間くらいかけ、家族にも入念に体を洗うように指示するようになった。診察室では疎通性が良好で家族に迷惑をかけていることを自覚している。
診断はどれか。
 - a 統合失調症
 - b 症状性精神障害
 - c 強迫性障害〈強迫症〉
 - d 身体的苦痛症〈身体症状症〉
 - e 素行障害〈素行・非社会的行動症〉

エコー・リレー

(589回)

(南から北へ北から南へ)

ランニング

宮崎市 県立宮崎病院 高 村 一 紘



2009年に自治医大産婦人科で勤務していたときに柴原浩章教授に誘われてマラソンを始め、これまでに青島太平洋マラソン10回、筑後川マラソン3回、鹿児島マラソン2回、いぶすき菜の花マラソン2回、完走し

ました。サブ4(4時間ぎり)を達成したあと、サブ3.5(3時間半ぎり)を目指しましたが、膝のけがなどもありモチベーションを保てなくなり、2022年12月を最後にマラソンから遠ざかっていました。しばらくゴルフにはまっていたのですがラウンドする暇がないため、この夏、ランニングを再開することにしました。

まずは、シューズ探しにスポーツ店へ。店員さんに勧められたナイキのペガサスの新商品を購入しました。今までのナイキの中では1番履き心地がいいと思います。

オンコールではない朝は4時に起床し、10kmジョギングします。朝でも暑いので、ゆっくり無理のないペースで走ります。帰宅したら愛犬のチワワと少し散歩して、シャワーを浴びて朝食をとり出勤するのがルーティーンになってきました。

朝のランニングを始めてよかったことは、①就寝時間が早くなったこと、②肩こりや頭痛が緩和したこと、③ポジティブに1日をスタートできることなどです。つらいことは、朝起きて走り始めるまでの時間と午後から眠くなることです。

青島太平洋マラソンにエントリーしたので、まずは歩かず完走できる脚力づくりを地道にしていきたいです。沿道で私を見かけたら応援してください！

[次回は、宮崎市の青山 剛士先生をお願いします]

〇〇スポ！

都城市 児玉小児科 児 玉 隆 志



スタンドからフィールドまでの近さ、選手との距離感。ユニリーバスタジアム(現いちご宮崎新富サッカー場)でのサッカー観戦は興奮と感動をもたらしてくれます。決して観客数は多

くなく、毎回来場されるファン、サポーターだけでなく、チームスタッフや報道関係者の方とも顔見知りになっています。取材を受け、新聞記事やネット記事に載ることもたびたびありました。

先日、妻と子どもたちが試合前にテレビの取材を受けました。夕方帰宅し、テレビに映るかドキドキしながら待っていました。妻と子どもたちが「〇〇スポ！」とタイトルコールで出たね、とにこやかに観ていると、もう一組の親子が「〇〇スポ！」と…!? 宮崎大学小児科医局所属の久保田力先生でした！テゲバジャーロ宮崎(そして快進撃を続けているヴィアマテラス宮崎)について、熱く語れる知り合いが周りにいません。久保田先生はマイナーな選手や知識について話してもしっかり知っておられるのでとても頼もしい仲間ができてうれしい限りです。

息子が小学校高学年になり、サッカーの練習や試合でほとんど毎週末試合や練習が入っており、ほとんどいちご(宮崎新富サッカー場)に行けなくなってしまいましたが、代わりに久保田先生が現地でたくさん応援してくれております。これからもともに応援していきましょうね！

もっとテゲバが県民に浸透し、他の先生方とマニアックに語れる日が来ることを期待しております。

[次回は、延岡市の久保田 力先生をお願いします]

メディアの目

井戸端会議をしよう

西日本新聞社 宮崎支局長

こう や ゆ き こ
神 屋 由紀子

8月8日夕、最大震度6弱を観測した地震が発生し、朝刊のグラチェックを終えた後、考えたのは水のことだった。再び地震が起こったら今度は断水や停電になるかもしれない。1月の能登半島地震では断水が続き、トイレや風呂などに使う水が不足していた。飲み水は備蓄や支援物資で届く。だが生活用水の備蓄は容易ではない。健康に直結する課題だ。地震に強く、断水時に水が確保できる井戸が見直されていると聞き、取材した。

南海トラフ地震などによる大規模災害時の断水に備えて宮崎市は井戸の所有者に「災害時協力井戸」への登録を呼びかけている。協力企業の一つ、三和交通グループの本社を訪ねた。断水が起これば洗車場にある井戸を近隣住民に使ってもらうことにしているという。後口昌賢社長は「トイレが使えず、食器洗いや洗濯もできないとなると、助かる命も失いかねない」と登録した理由を語っていた。

この制度で今年3月末現在の登録数は1,753件。住民は行政の出先事務所で井戸の場所を確認できるが、周知が課題だろう。

同様の制度を導入している自治体は九州各地に点在している。だが大規模災害となれば広域連携が必要だ。大分県では県薬剤師会が自治体に呼びかけて井戸の場所を示す地図を作っている。同会は県内の多くの市町村の水質検査を担

っており、これまで佐伯、津久見、臼杵の3市の地図を作成。停電時のことも考え、それぞれの井戸の汲み上げ法式が電動か手動かもリストに入れた。一昨年には県南3市の「災害等緊急時生活用水MAP」に統合し、インターネット上で公開している。災害時にはグーグルマップでその井戸が使えるのか情報を更新していくという。同会検査センターの梶原浩所長は「過去の震災で井戸は壊れず活用できた。万一の時に地図が役立つ」と意義を説明していた。

2016年に深刻な震災を経験した熊本市では市や銀行が非常時を想定した井戸を設置している。緊急避難場所となるJR熊本駅の駅前広場にはスタイリッシュな銀色の井戸があり、炎天下、通行人がハンドルを上げ下げして手を洗っていた。肥後銀行の駐車場にある井戸は普段、鍵が掛けられているが、小中学校の防災学習に使われているという。これらの設置に関わった全国さく井協会九州支部は「家に消火器を常備するように、停電時も使える手動式の井戸を避難所などに設置することが大切」と説く。

最近あまり聞かなくなった言葉に井戸端会議がある。元々は女性のおしゃべりを半ばからかう言葉だが、井戸の場所や使い方を確認し、大規模災害の備えについて話す今時の「井戸端会議」があっという間。そうしたことができる地域の結びつきも必要だ。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第36回 独居高齢者の入院に伴う、アパートの解約や資産管理について

**Q.**

高齢独居の進行癌の患者さんが緩和治療で入院し、退院困難な状況となりました。判断能力のある方で身寄りがいないとの申し出を受け、患者さんの同意を得、病院スタッフと十分協議したうえで、賃貸契約の解除を含め適切に資産管理を代行しました。その患者さんの死亡後、親族が名乗りをあげ、意に沿わない内容だと責任を追求されました。どのように対応すればよいのでしょうか？

まず、判断能力がある患者さんである場合、賃貸借契約の解除について、患者さんの同意を得ながら手続を行うことは法的に問題ありません。例えば必要書類の手配などの手続のための準備行為はこちらで行うとしても、当該書類について患者さん本人が署名・押印を行う場合には、法律上の問題は生じません。この点で重要なのは、判断権者が「患者」である点です。つまり、判断権者が「スタッフ」となることは避けなければならないことから、署名・押印などの行為は患者さんにしてもらうことが重要です。

その一方、判断能力が十分であるか悩ましい場面や、「資産管理」というのもどこまでの範囲を行うのかによって法的問題の可能性もあります。なぜなら、判断能力が十分ではない場合、本人の承諾が法的に無効と判断される可能性があるため、判断権者が「患者」という構図が成り立ちません。この場合に患者以外の方が判断権者になるためには、成年後見人を立てるのが一番確実な方法となります。その一方、すべての患者さんに対して成年後見人を立てるのは現実的ではなく、難しい問題です。この場合には、あくまで患者さんの財産を保護するための活動（患者さんの財産にとって明らかに不利益となるものを防止する行為など）に終始し、患者さんの財産を費消させる行動（新しい契約をしたり、新規に何かを購入したりするなど）は避けるべきでしょう。そのため、判断能力が不十分である場合には成年後見人を検討する一方、そこまでではない場合には患者さんの不利益を防止する点に終始する形で資産管理を行うことが、法的リスクを下げることとなります。

ご質問のケースの場合、単なる「意に沿わない」というだけならば法的責任が発生する可能性は低いですが、患者さんの財産が減少する行為であった場合、賠償問題になる可能性も否定できません。したがって、患者さんの判断能力が十分である場合には、判断権者は「患者」という構図は守る一方、それが難しい場合には法的リスクを下げる方向で対処していただくのがよいと思います。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～7月～

令和6年7月1日～令和6年7月28日（第27週～第30週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核15例（男性4例・女性11例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として，腹痛，水様性下痢，血便，発熱，溶血性貧血，急性腎不全，溶血性尿毒症症候群（HUS）がみられた。原因菌はO157（VT型不明）であった。

4類：○レジオネラ症2例：都城，日南保健所管内から報告があった。年齢は50歳代と60歳代で，病型は，いずれも肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，肺炎がみられた。

5類：○侵襲性肺炎球菌感染症2例：宮崎市，延岡保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳と70歳代であった。主な症状として発熱，咳，全身倦怠感，意識障害，肺炎，菌血症がみられた。

○梅毒7例（男性1例・女性6例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表3】，年齢別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として，筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害，発語障害，痙攣がみられた。

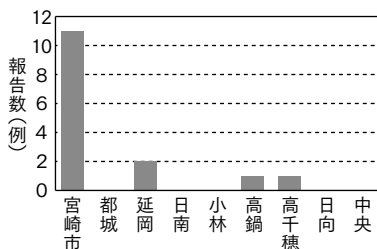


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	3
肺結核及びその他の結核 (結核性リンパ節炎)	1
その他の結核 (左耳下腺，結核性ぶどう膜炎， 結核性胸膜炎)	4
無症状病原体保有者	7

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	5
30歳代	1
60歳代	1
70歳代	3
80歳代	3
90歳代	2

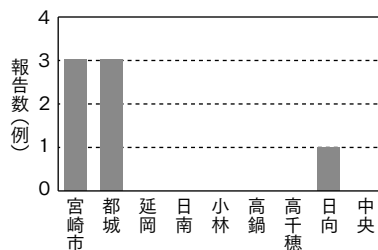


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表3 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	1
早期顕症梅毒Ⅱ期	3
無症状病原体保有者	3

表4 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	3
30歳代	3
40歳代	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は9,421人（定点あたり199.9）で，前月の161%，例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の150%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症，RSウイルス感染症及びヘルパンギーナで，減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎，感染性胃腸炎及び手足口病であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症，咽頭結膜熱，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，手足口病及びヘルパンギーナであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は6,078人（104.8）で前月の約3.5倍であった。延岡（167.0），高千穂（134.5），中央（115.5）保健所からの報告が多く，15歳未満が全体の約4割を占めた。

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	Cytomegalovirus	1
	Human herpes virus 6	1
	Parainfluenza virus 3	3
	Coxsackievirus A6	1
	Influenza virus A H1pdm09	1

RSウイルス感染症の報告数は847人（23.5）で前月の約1.5倍、例年の約3.1倍であった。中央（51.0）、宮崎市（37.3）、小林（21.7）保健所からの報告が多く、6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向（2024年7月）

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は42人（3.2）で、前月比105%と増加した。また、昨年7月（2.6）の約1.2倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人（1.7）で、前月と同率、昨年7月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性7人・女性15人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人（0.77）で、前月の約1.3倍、昨年7月の約3.3倍であった。（男性1人・女性9人）
- 尖圭コンジローマ：報告数4人（0.31）で、前月と同率、昨年7月の4.0倍であった。（男性2人・女性2人）
- 淋菌感染症：報告数6人（0.46）で、前月及び昨年7月と同率であった。（男性5人・女性1人）

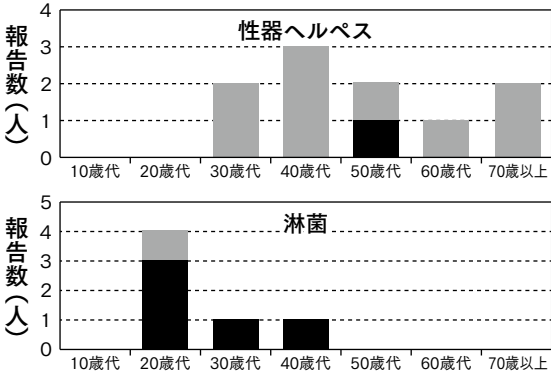
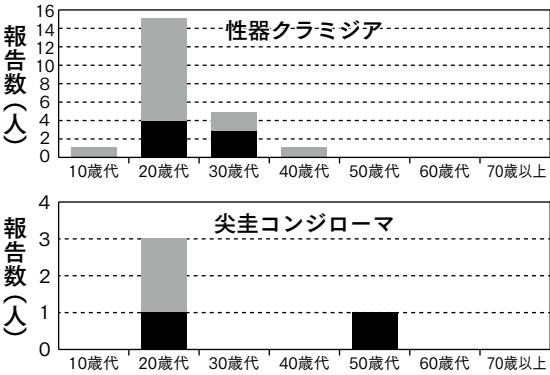
前月との比較

	2024年7月		2024年6月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	8	0.1	22	0.4	
新型コロナウイルス※1	6,078	104.8	1,759	30.3	
RSウイルス感染症	847	23.5	553	15.4	★
咽頭結膜熱	71	2.0	82	2.3	★
溶レン菌咽頭炎※2	724	20.1	989	27.5	★
感染性胃腸炎	566	15.7	724	20.1	
水痘	19	0.5	22	0.6	
手足口病	567	15.8	707	19.6	★
伝染性紅斑	2	0.1	10	0.3	
突発性発しん	59	1.6	65	1.8	
ヘルパンギーナ	456	12.7	125	3.5	★
流行性耳下腺炎	6	0.2	11	0.3	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	9	1.5	10	1.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	9	1.3	2	0.3	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は26人（3.7）で、前月比104%とほぼ横ばいであった。また、昨年7月（3.1）の約1.2倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数25人（3.6）で、前月と同率、昨年7月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）であった。（前月及び昨年7月報告なし）
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各郡市医師会だより

延岡市医師会

会長 ^さ佐 ^{とう}藤 ^{のぶ}信 ^{ひろ}博

延岡市医師会会長に再選（3期目）されました佐藤信博でございます。副会長の平野雅弘先生、赤須郁太郎先生共々、引き続き重積を担ってまいることになりました。監事には早田泰英先生と宮本義明先生、理事には平嶋智之先生と岩谷健志先生に新たに就任していただき、延岡看護専門学校の校長には金井一男先生に就任していただきました。新たな体制でスタートすることになりましたが、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、延岡市医師会の経営につきましては、昨年度は医師の退職にともない大幅に収益が減少しましたが、本年度は医師1名を確保でき入院患者の受け入れも改善していますので、収益改善につながるものと考えております。医療従事者の人材不足は深刻であり、医師のみならず看護師、看護助手、療法士、事務員など多岐にわたる職種で採用に苦労しています。医療従事者が不足する中で、処遇面はもとより魅力ある医療機関となるのがこれからは人材確保の鍵になってくると思いますので、人材の確保を含めた中長期の経営戦略の見直しが必要であると考えています。

また災害対策面の課題として、延岡市医師会病院が海岸に近い立地のため大規模災害時には医療機関としての機能が維持できないことが危惧されます。高台への移転が重要なテーマとなりますが、会員に経済的な負担をできるだけかけない方法を検討してまいりたいと思います。大災害発生時の地域医療体制の確保や医師会病院のBCPの作成も喫緊の課題であると感じております。

また延岡看護専門学校には、この春に「3年課程全日制」が開学し1年生が入学してきました。優秀な生徒が集まっておりますので、卒業後に地元に残ってくれる魅力的な方策をしっかりと検討してまいりたいと思います。

延岡市医師会は地域医療を守るため会員一同取り組んでまいる所存でございます。皆様方のご支援ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



延岡市医師会新役員

役員等名簿（任期 令和6年6月27日定時総会終結時～令和8年6月定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	佐藤 信博	整形外科, 麻酔科, リハビリテーション科	あたご整形外科	統括・渉外（延岡市医師会病院院長・ 延岡看護専門学校運営委員長・ 延岡市医師連盟委員長・ 延岡市医師会共済会委員長・ 延岡市夜間急病センター所長）
副会長	平野 雅弘	内科, 消化器科, 胃腸科	平野消化器科	救急医療・延岡市夜間急病センター・ 災害医療・地域医療・医療行政・ 医事紛争（医療事故調査制度も含む）・ 総務
〃	赤須郁太郎	外科	延岡共立病院	延岡市医師会病院（管理統括部長）・ 庶務・宮崎県医師会常任理事
理 事	山口 哲朗	呼吸器科, 内科	県立延岡病院	学術・生涯教育・勤務医部会
〃	大重 明広	産婦人科	大重産婦人科医院	会計・学校保健
〃	竹原 俊幸	泌尿器科	おがわクリニック	看護学校・腎臓検診
〃	安藤 誠	内科, 循環器内科	桜小路クリニック	心臓健診・看護師研修・ 医療保険・健康教育
〃	井上 英豪	整形外科	いのうえ整形外科 クリニック	労務対策
〃	池田 典文	内科	赤須医院	介護保険介護福祉・ 産業医（県北地域産業保健センター・ 産業医部会）
〃	宝珠山厚生	小児科	ほうしやま 子どもクリニック	公衆衛生/新興感染症対策
〃	岡村 樹里	内科	岡村病院	生活習慣病（特定健診, 各種がん検診・ 糖尿病も含む）・広報
*	〃	眼科	出北眼科	文化厚生会員福祉・ 医療情報システム/遠隔診療
*	〃	内科, 外科, 救急科	緑・在宅クリニック	在宅医療
監 事	吉田 建世	精神科	吉田病院	宮崎県医師会常任理事
*	〃	循環器科	早田病院	
*	〃	整形外科, リハビリテーション科, リウマチ科	宮本整形外科	
議 長	木下 義美	内科	谷村病院	
副議長	川名 修徳	皮膚科	川名皮膚科	

* は新任

各都市医師会だより

日向市東臼杵郡医師会

会長 いまきいれ 今給黎 さとる 承

6月8日、定時総会後の第一回理事会にて会長に選任されました。3期6年間務められた前会長の千代反田晋先生には監事として残っていただき、ご指導いただく予定です。また、平成18年4月から長きにわたって県医師会理事を担当していただいた金丸吉昌先生は宮崎市郡医師会に移動され、県医師会副会長に就任されました。両先生には長年当医師会のためにご尽力いただき、深く感謝申し上げます。新体制では堀之内和代先生と森迫和仁先生に副会長として支えていただき、県医師会理事は前副会長の松岡敬子先生に担当していただきます。また、6人の先生が新たに理事に選出され、新体制で順調にスタートしたところです。

さて今後の当医師会の課題として、2025年を間近に控え、介護・福祉・行政との連携を密にしていくこと、大規模災害への備えを具体化していくこと、医療人材不足への対応、医師会館老朽化問題、看護学校事業・介護サービス事業の継続性の問題等々、枚挙に暇がありません。とにかく会員・職員の皆さんの意見を十分傾聴し、進めていきたいと考えています。当医師会の伝統は会員同士の「仲のよさ」であります。それは先輩会員の方々が苦勞して築き上げたものだと思いますし、仕事をし易い医療環境を維持するためには、顔の見える連携が重要と考えます。

コロナ禍の影響で情報交換の場が減っていましたが、10月には当医師会主催で、管内の一次医療機関と二次医療機関の連携の会を予定しました。県医師会や他の都市医師会とも十分連携し、微力を尽くして運営に当たっていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



日向市東臼杵郡医師会新役員

役員等名簿（任期 令和6年6月8日定時総会終結後～令和8年6月定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	今給黎 承	循環器内科, 内科	今給黎医院	会務全般, 渉外, 日向市東臼杵郡医師会 医師連盟委員長, 看護高等専修学校運営 委員会委員長, 法制委員会委員長, 人事 給与委員会委員長, 医療事故審査委員会 委員長, 時間外救急診療対策委員会委員 員, 心臓検診委員会委員
副会長	堀之内和代	皮膚科	沼田皮膚科	総務, 日向市東臼杵郡医師会医師連盟副 委員長, 看護高等専修学校校長, 人事給 与委員会委員, 医療事故審査委員会委員 員, 看護高等専修学校運営委員会委員, 看護高等専修学校教務委員会委員長, 法 制委員会委員, 医事紛争
”	森迫 和仁	胃腸科, 内科	森迫胃腸科内科	総務, 会計, 看護研修会, 看護高等専修 学校副校長, 看護高等専修学校教務委員 会委員, 医療事故審査委員会委員, 看護 高等専修学校運営委員会委員, 法制委員 会委員, 人事給与委員会委員, 時間外救 急診療対策委員会委員, 糖尿病対策
理 事	田代慎二郎	小児科	こどもクリニック たしろ	小児生活習慣病検診委員会委員長, 心臓検診委員会委員, 公衆衛生・感染症, 予防接種, 小児保健
”	鮫島 仁彦	内科, 消化器科, 放射線科	鮫島病院	特定健診委員会委員長, かかりつけ医運営委員会委員
”	家村 文夫	内科, 循環器内科	家村内科	腎臓検診委員会委員長, 在宅サービス運営委員会委員, 時間外救急診療対策委員会委員, 学校医
”	長田 浩伸	整形外科, リウマチ科, リハビリ科	長田整形外科	学術生涯教育, 広報, 情報システム, ホームページ
”	松岡 敬子	心療内科, 内科, 精神科	松岡内科医院	県医師会理事
”	吉森 建一	内科, 消化器内科, 呼吸器内科	吉森医院	特定健診委員会委員長, 在宅サービス運 営委員会委員長, 人事給与委員会委員, 在宅医療協議会委員, 産業医
”	新名 克彦	形成外科, 呼吸器科	にいな鶴町 クリニック	時間外救急診療対策委員会委員長, 心臓 検診委員会委員, 医の倫理向上, 自浄化 作用活性化, 医療関係者対策, 会員福祉
”	甲斐 史朗	整形外科, 外科, リハビリ科	かい外科整形外科 スポーツリハビリテ ーションクリニック	かかりつけ医運営委員会委員長, 医療保険, 医療安全対策, 健康教育
”	伊藤 康司	消化器内科, 内科	和田病院	法制委員会委員, 看護高等専修学校教務 委員会委員, 看護高等専修学校運営委員 会委員, 看護高等専修学校主事, 救急医 療, 成人保健（がん検診）
監 事	古賀 正広	内科, 胃腸科, 消化器科	古賀内科胃腸科	
”	千代反田晋	外科, 消化器外科	千代田病院	
議 長	大久保史明	外科, 消化器内科, 肛門外科, 放射線科, リハビリテーション科	大久保外科胃腸科	
副議長	鮫島 貴	整形外科	鮫島病院	

* は新任

国公立病院だより

国立病院機構宮崎東病院



い い と し ひ こ
伊井 敏彦 院長

令和元年（2019年）、私は塩屋敬一院長、枝川正雄副院長のもと呼吸器内科部長を務めていました。「脳神経難病，筋ジストロフィーを中心とする脳神経内科診療」，

「呼吸器内科，外科・呼吸器外科，腫瘍内科による呼吸器診療」，「子どもの心の問題に向き合う児童精神科診療」を3本の柱として，平成28年に開棟した新病棟を活用し病院経営はまずまず安定していました。令和元年末，中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症がその後パンデミックに拡大し，医療はもちろん皆さんの生活全般に多大な影響を及ぼしました。人との接触が暴力になりうることを，3年にわたり県外に出かけないことは人生初でした。この間に特命副院長を経て，令和4年4月から病院長としてコロナ対策の舵をとりました。コロナ診療のあらましと令和6年現在の当院の診療機能についてお伝えします。

次々に変異を繰り返し病態とターゲットを変える難敵に対して，初めは患者あるいは濃厚接触者の徹底的な隔離が唯一の対策でした。病態解明や治療薬開発が進むと戦える病気にはなったものの，特にデルタ株における肺炎の頻度，重症度には呼吸器内科医として大いに脅威を感じました。ワクチン接種が進むにつれて，明らかな感染予防，重症化阻止効果を実感できましたが，それを超えるオミクロン株の感染力に直面しました。いかに院内感染対策を取りながら，患者さんや家族の面会，外出・外泊を制限するか，緩和するかに大いに悩みました。当院

職員や入院患者さんにも多くの感染者を出し，院内保育所クラスターと病棟の小規模クラスターを経験したものの，病棟や外来の完全な休止は免れました。呼吸器内科，結核病床（陰圧化ユニット16床）を有する病院として，当院2階病棟をすべて新型コロナウイルス対応としたこと，専門外来を設けて自宅やホテル療養中の患者さんを診療して，入院の可否を判断したことなどは，自治体や保健所から大いに評価されました。使命感に基づいて診療にあたった病院職員の貢献に大いに感謝しています。排菌陽性肺結核患者を引き受けてくださった竹内病院，竹内茂先生に心から感謝いたします。令和5年5月から結核入院診療を再開しましたが，排菌陽性結核患者さんは減少傾向にあります。

コロナに翻弄された令和2年度から令和5年度の当院を振り返りますと，特に脳神経内科（筋ジス，神経難病関連）の入院患者が減少しました。感染予防のため患者さんの外出・外泊と面会を制限せざるをえなかったことも入院抑制の原因になりましたが，施設や在宅での呼吸管理が増えていること，気管切開下人工呼吸管理を希望されない患者さんが増えていることが主な理由と考えています。すでに5年以上傾向が変わらないため，令和6年度中に3階病棟を休棟して4階病棟に集約を進める予定です。担当科である脳神経内科は医師の高齢化に直面しており，勤務延長などを活用しつつ，宮崎大学のご協力を得ながら若返りを進めています。

児童精神科は，1階病棟を専用病棟として発達障害，学習障害，ゲーム依存，不登校，被虐待などさまざまな問題を抱える小学生から高校生ぐらいの学童を診療しています。見た目はごく普通の子どもたちですが，突然暴力的になり他の子供さんや職員に危害を加えること，自傷すること，性的問題行為が散見されます。親御さんに問題があるケースも多く，医師や看護師が対応に悩むこともあります。患児の学習，教

育については赤江まづら支援学校のご協力で個別性の高い対応ができています。外来診療は医師のキャパシティを超えているため、申し込みから診療まで数か月お待ちいただく場合がありますが、診療科の特性としてご容赦ください。担当医師が高齢化したため、宮崎大学の小児科、精神科のご協力をいただき、若い先生方に着任いただいています。病棟はもとの結核病棟を改修した1階病棟を使っていますが、老朽化が目立っています。男女を別にする、問題児童の隔離室を増やすためにも近い将来に病棟の建て替えが必要です。今後ともご支援をお願いします。

呼吸器内科、呼吸器外科、腫瘍内科はお互いに協力しながら肺癌を診療しています。呼吸器内科は医師6名と充実しており、結核をはじめとする呼吸器感染症、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、慢性呼吸不全などを幅広く診療しています。コロナ診療でも大活躍しました。呼吸器外科では肺癌の他、気胸の急患も受け入れています。腫瘍内科は1名態勢ですが、多くの癌患者を治療しています。

内科は副院長、名誉院長を中心に生活習慣病と高血圧、循環器疾患を診療しています。呼吸器内科と連携して肺炎や呼吸不全、肺癌の終末期も診ています。放射線科では大型医療機器の

共同利用を進めており、特にPETやRI、MRIは至急の対応ができますのでご活用ください。小児科は糖尿病や成長障害など内分泌疾患が専門ですが、摂食障害や高度肥満などについて児童精神科と協力して診療しています。

看護部門では、勤務時間管理（特に夜勤看護師の不足）や虐待防止などが喫緊の課題です。地域全体で病院看護師の不足が続いており、新たな看護師の確保がますます困難になっています。令和4年度秋に看護師の特定行為研修施設を開講しました。長期人工呼吸療法に関する行為に絞って研修を施行し、無事4名の修了者を出しました。当院外からの研修参加も可能です。医師、看護師が不足していく中で、うまく業務分担ができるようにこのシステムが活用されることを期待しています。

少子高齢化社会の中で病院から施設や在宅へという医療のトレンドが続いています。入院患者数の回復は至難の業であり、病棟の集約という苦渋の選択をしました。当院は脳神経難病や結核、児童精神診療など、地域になくてはならない機能を担っていると自負しています。厳しい経営状況の中でなんとかこれらの機能を維持、発展させるべく努力しますので、今後ともご理解とご支援をよろしくお願いします。



宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院 －手術部－



つねよし いさお
恒吉 勇男 教授

宮崎大学医学部附属病院手術部は宮崎県下で行われる手術の最後の砦としての自覚のもと、緊急手術や高難度医療をはじめ年間約6,000例の手術を行っています。

当院手術室は2008年に改築され、それまでの8部屋から12室へ増設されました。ベッドは眼科の手術用ベッドを2台置いている関係で総数では13台あります。通常、各手術室は陽圧となっていますが、一部屋は飛沫感染症などに対応するために陰圧室に切り替えることができ、COVID-19罹患患者の手術では大変助かりました。また2015年に透視装置を備えたハイブリッド手術室を増設しましたが、従来の手術室ではC-アームを用いてX線を大量に照射する大動脈ステントグラフト手術での被爆量を最小限に抑えることが可能となり、大動脈弁付きステントグラフト挿入術（TAVI）手術も可能となりました。現在、僧帽弁逆流症をクリップで止めて逆流を減らすミトラルクリップと呼ばれる手術が高難度新規医療として申請されており、従来では僧帽弁置換術が必要であった患者も透視下での低侵襲手術が可能となります。これらのステント手術は世界的に見ても始まってから10年ほどの月日しか経過していないため、長期予後に関してはいまだ結論は出ていませんが、今後ますます増加していくことと思います。

ロボット手術も脚光を浴びていますが、当手術室には2台のロボット「ダヴィンチ」を入れております。主に泌尿器科手術、下部消化管手術、婦人科手術を行います。食道手術での申請があり、さらに適応範囲が増えそうです。

手術部常在のスタッフは、麻酔科医が20名、看護師が47名です。手術部長は麻酔科教授恒吉勇男、副部長は手術部准教授矢野武志、看護師長は山本亜矢です。臨床工学士はセンター長の小田裕一をはじめ総数17名の職員が院内にいますが、業務に合わせて手術室に配置されます。また薬剤師は専任の谷之木佑歌を中心に午前・午後の2回派遣され、麻薬や筋弛緩薬の管理を行っています。医療事務は受付に1名、医事処理に2名配置されており、ドクターズクラークとして代行入力も行います。放射線部からは、TAVI手術や整形外科手術において九州で唯一導入されている「O-arm」という手術台に乗ったままでCT撮影ができる大型機械の操作など、連続的な放射線撮影が必要な際に適時人員が派遣されます。また他大学にはない当院特有な職員として、機械操作員が5名います。彼らは、手術で必要な顕微鏡や内視鏡など大きくて重たい機械や緻密な作業が要求される機械のメンテナンスなどを行います。看護師の業務負担の軽減はもとよりスムーズな手術室運営に欠かせない存在となっています。

増加の一途をたどる手術症例に対して、手術室の増設を検討しています。また業務の一部外注化を図るなど、働き方改革の一環として医師や看護師の業務負担の軽減と効率化を目指して病院執行部と連携して将来計画を練っています。

（医局長 矢野 武志）

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(整形外科医会)

かわぐち せいいち
川越 正一 会長

令和4年より宮崎県整形外科医会会長に就任しております川越正一です。宮崎県医師会会員の皆様ご指導のほどお願い申し上げます。

令和6年度でございますが、副会長には坂本康典先生、理事に公文崇詩先生（延岡）、大平卓先生（日向）、

飯田博幸先生（都城）、坂本武郎先生（宮崎大学）、後藤啓輔先生（宮崎）、本部浩一先生（宮崎）、黒木隆男先生（宮崎）が選出され、監事には宮元修一先生（宮崎）、福嶋秀一郎先生（宮崎）が選出されました。評議員には、三股恒夫先生（日向）、栗原典近先生（延岡）、神菌豊先生（宮崎）、黒木龍二先生（宮崎）、作良彦先生（宮崎）、渡部正一先生（宮崎）、松田虎洋先生（日南）、池之上貴先生（都城）、竹之内剛先生（小林）、帖佐悦男先生（宮崎大学）、濱中秀昭先生（宮崎大学）、渡邊信二先生（宮崎大学）が選出されました。宮崎県整形外科医会の会員数は現在A会員83名、B会員135名の合計218名であります。

宮崎県整形外科医会で行われる主な活動として次のものがあります。

1) 全国整形外科保険審査委員会議

例年9月に品川の東京カンファレンスセンターで、審査基準の平準化と全国審査機関の啓発を目的として、日本整形外科学会、日本臨床整形外科学会、日本整形外科勤務医会の3学会によって開催されています。昨年度は9月10日にWebおよび現地参加のハイブリッドで開催されました。6名の審査委員の先生方に参加いただいております。

2) 宮崎県整形外科医会研修会

昨年は令和5年11月11日(土)に開催されました。本研修会は、9月の全国整形外科保険

審査委員会議の結果をふまえて、宮崎県における保険審査基準を説明する会であります。社保審査委員からは福嶋秀一郎先生、国保審査委員からは佐藤信博先生（延岡）が講師として出席されました。また、同時に特別講演としまして、宮崎大学医学部整形外科助教の黒木修司先生に『正確な骨粗鬆症の評価と治療法の選択』をお話ししていただきました。

3) 市民公開講座

令和5年10月22日(日)に開催されました。本講座は宮崎大学整形外科教室が中心になり毎年10月に開催されます。聴衆は一般市民です。整形外科の講師は4名で、1名が30分ずつお話しされます。県整形外科医会からは、令和4年度に引き続き私が講師を務めました。

4) 『生きる力』を育む健康教育充実事業

この事業への講師派遣は宮崎県教育庁からの依頼で、宮崎県の小学校、中学校、高等学校に整形外科講師を派遣しています。昨年度は福元洋一先生（宮崎）に講演をお願いしました。

5) 宮崎日日新聞生活情報誌『きゅんと』の執筆協力

整形外科が担当する枠が1年に2回あります。昨年度は私が執筆いたしました。

6) 委員会、審議会委員の推薦

宮崎県社会福祉審議会委員に福嶋麻里先生（宮崎）にご就任いただきました。宮崎県医師会各種委員会委員には、大平卓先生（日向）、飯田博幸先生（都城）、黒木浩史先生（宮崎）、福嶋秀一郎先生（宮崎）、麻生邦典先生（宮崎）のご留任をいただきました。

国内、海外ともに激動の時代です。こういう時代だからこそ団結、協力が大事だと考えます。最後に県医師会会員の先生方のご健勝をお祈り申し上げます。

九州医師会連合会第416回常任委員会

と き 令和6年7月13日(土)

ところ 福田病院令和館ホール(熊本市)

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会長

長崎県森崎会長から、6月末で任期が終了した、1年間のご協力に感謝する旨の挨拶が行われた。

2) 開催県医師会長

熊本県福田会長から、不安はあるが九州各県医師会のご指導並びに次期担当の福岡県蓮澤会長とも随時ご相談をさせていただきながら1年間担当していく、ご協力をお願いしたい旨の挨拶が行われた。

3 協 議

1) 九州医師会連合会会長・同副会長の互選について(熊本)

九医連の会長は熊本県福田会長、副会長は福岡県蓮澤会長とすることが承認された。任期は令和6年7月1日～令和7年6月30日。

2) 九州医師会連合会監事の選定について(熊本)

担当隣接県の福岡県、鹿児島県から選出することが承認された。

3) 第1回各種協議会(10月5日(土)熊本市)の開催種目について(熊本)

地域医療、医療保険、介護保険の3つの対策協議会とすることが決定した。また各種協議会の前に勤務医担当理事連絡協議会を開催することが承認された。

4) 日本医師会会内委員会委員について(熊本)

事前に照会した九州各県の意見を基に、日本医師会がブロック推薦委員を置く29の委員会について調整を行った。

本県からは10の委員会にエントリーし、最終的にブロック推薦からもれた候補者は、日本医師会長推薦委員として加えてもらえるよう九医連会長名で依頼することとなった。

4 その他

1) 令和7年度九州医師会連合会行事予定について(福岡)

常任委員会終了後、引き続き九州医連連絡会常任執行委員会が開催され、その後記念撮影などが行われた。

出席者－河野会長、竹崎事務局長

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
d	c	d	d	a	a	c	c	c

お知らせ

第55回全国学校保健・学校医大会の参加申込について
(事前参加登録期間の延長)

第55回全国学校保健・学校医大会を宮崎県医師会担当で下記要項案のとおり開催いたします。

本大会は、原則、事前参加登録となります。

このたび、参加登録期間を9月30日まで延長いたしましたので、締切日までにお申込みくださいますようお願いいたします。

参加登録は、大会ホームページから直接お申込みください。

■第55回全国学校保健・学校医大会ホームページ

<https://school-health55.jp/>

ホームページトップ>メニュー「事前参加登録」

■延長後の申込締切日 令和6年9月30日(月)



大会ホームページ

令和6年度 第55回全国学校保健・学校医大会 開催要項案

テーマ：「未来ある子ども達のために、いま学校医ができること」

日時 令和6年11月9日(土)午前10時～ ※後日、オンデマンド配信予定
会場 シーガイアコンベンションセンター (宮崎市山崎町浜山 TEL0985-21-1155)
主催 日本医師会
担当 宮崎県医師会
参加者 日本医師会会員および学校保健に関係のある専門職の者
参加費 20,000円 (懇親会費含む) ※懇親会に参加される同伴者は5,000円

9:00	受付	
10:00	分科会 第1分科会「からだ・こころ(1)」11題 第2分科会「からだ・こころ(2)」11題 第3分科会「からだ・こころ(3)」11題 第4分科会「耳鼻咽喉科」12題 第5分科会「眼 科」11題	■シンポジウム (各15分) ①「小児科医の立場から」 医療法人社団 児玉小児科 院長 児玉 隆志 氏 ②「耳鼻咽喉科医の立場から」 医療法人社団 松浦みみ・はな・のどクリニック 院長 松浦 宏司 氏 ③「眼科医の立場から」 医療法人おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科延岡 院長 石井 紗綾 氏 ④「養護教諭の立場から」 宮崎県教育庁スポーツ振興課 健康教育担当副主幹 (養護教諭) 那須 さおり 氏
12:00	昼 食 都道府県医師会連絡会議	■ディスカッション (20分)
13:00	開会式・表彰式 次期担当医師会長挨拶	16:10 特別講演 演題「夢を夢で終わらせない競泳人生」 講師：元オリンピック競泳日本代表コーチ 久世 由美子 氏 座長：宮崎県医師会 会長 河野 雅行
14:00	※大会参加者には書籍『学校医のすすめ～そうだったのか学校医』を無料配布 シンポジウム テーマ 「学校医の魅力、やりがいとは何か ～現状と課題を踏まえて～」 座長：宮崎県医師会副会長 小牧 斎 宮崎県医師会常任理事 高木 純一 ■基調講演 (50分) 演題 「日本医師会作成『学校医のすすめ～そうだったのか学校医』発刊にあたって」 講師：日本医師会学校保健委員会 (令和4・5年度) 副委員長 /日本学校保健会専務理事 弓倉 整 氏	16:15 閉 会 18:30 懇親会 アトラクション カウンターテナー歌手・声楽家 映画「もののけ姫」の主題歌歌手 米良 美一 氏 20:30

日医インターネットニュースから

■来夏の参院選、1次公認に釜范氏 — 自民、45人決定 —

自民党は7月25日、選挙対策本部の会議を開き、来夏の参院選に向けて1次公認候補者を決定した。日本医師連盟の組織内候補で、現日医副会長の釜范敏氏（71）も、新人として入った。1次公認候補者は、比例代表17人、選挙区28人の計45人。

比例代表の医療関係の候補者としては、ほかに以下の各氏が選ばれた。

▽日本看護連盟の組織内候補で、元参院厚生労働委員長の石田昌宏氏（57、2期）▽日本歯科医師連盟の組織内候補で、参院厚生労働委員長の比嘉奈津美氏（65、1期）▽日本薬剤師連盟の組織内候補で、文部科学大臣政務官の本田顕子氏（52、1期）▽日本理学療法士連盟の組織内候補の田中昌史氏（58、1期）。

熊本選挙区では、元厚生労働大臣政務官の馬場成志氏（59、2期）が公認を受けた。

来夏に任期満了を迎える厚労関係議員では、元厚労相で参院議長を務める鹿児島選挙区の尾辻秀久氏（83、6期）、一億総活躍担当相や厚生労働副大臣を歴任した比例代表の衛藤晟一氏（76、3期）が、すでに引退を表明している。

（令和6年7月30日）

■「お祝い金」で許可取り消しも — 医療人材紹介、厚労省が方針 —

厚生労働省は7月24日、医療・介護・保育などの悪質な人材紹介事業者への対策を強化する方針を示した。「お祝い金」や転職勧奨の禁止を事業許可の条件とし、違反が続く事業者は許可取り消しの対象とする。職業安定法に関する指針（告示）を改正し、今秋にも施行する構えだ。

労働政策審議会の職業安定分科会「職業安定分科会労働力需給制度部会」（部会長＝山川隆一・明治大法学部教授）で方針を示し、大筋で了承された。

医療などの紹介事業者を巡っては、手数料の高騰が医療経営などを圧迫しているとの指摘を受け、厚労省が昨年8月から今年5月に、全国の約1152事業所に対する集中的な指導監督を実施した。その結果、6割に当たる716事業所

で職安法や指針の違反を確認した。

お祝い金の提供は現行の指針で禁じているものの、罰則の規定はない。指導監督では、面接の際に数千円の電子ギフトカードを支給したり、資格取得費用として数万円程度のキャッシュバックを行うといった事例が発覚していた。

●紹介手数料を「見える化」

利用料金や違約金の規約を明示することも紹介事業者の義務とする。求人情報などの検索サービスを提供する「募集情報等提供事業者」も対象とし、規約の内容を書面や電子メールで正確・明瞭に提示する旨の規定を追加するとした。

職種ごとの紹介手数料を「見える化」する方針も打ち出した。省令を改正し、厚労省の「人材サービス総合サイト」で公開するとした。

これらの対策は、事務職をはじめ3分野以外の人材を紹介する事業者にも適用する。

●ハローワークの機能も強化

医療など3分野を中心とする人材確保策としては、ハローワークの機能強化を打ち出した。専門の窓口を整備したり、「ハローワークインターネットサービス」を充実させるといった内容を示した。

厚労省は法令の見直し作業に着手する。改正案を部会に図った上で、パブリックコメントを実施、施行につなげる運びだ。

（令和6年7月30日）

■50代開業医、週60時間超勤務「33.7%」 — 日医総研「勤務医より深刻」 —

日医総研のワーキングペーパー（WP）によると、50代の開業医の33.7%が、「過労死ライン」とされる週60時間超の勤務をしていた。勤務医の割合を上回った。「単純に数字だけを比較すると、勤務医よりも長時間労働が深刻とも言える」と指摘している。

昨年11月、日医の女性医師支援センターは、50代の日医会員を対象に、キャリアプランに関する調査を実施。その結果を日医総研で分析した。

週当たりの総労働時間（臨床以外の労働時間を含む）が60時間を超えていたのは、全体で30.5%。開業医は33.7%、勤務医は27.2%だった。

WPでは、開業医の仕事が臨床だけでなく、人事、経理、施設・物品の管理、医師会活動な

ど、多岐にわたると説明。「代診医の派遣や開業医の臨床以外の業務の支援など、公のサポートが必要と考えられる」とした。

調査結果の分析結果を踏まえ、働き方の男女差や、60代以降のキャリアプランに関する考察も盛り込んでいる。WPの題名は「50代医師の将来のキャリアプラン調査－現在の働き方と65歳以降に想定するキャリア－」。

(令和6年8月2日)

■日医の会員数、17万7170人で過去最多 － 7月末時点 －

日医は8月7日、会員数が7月末時点で17万7170人となり、過去最多を更新したと発表した。

昨年7月末時点と比べると約2900人の増加、昨年12月1日時点と比べると約1200人の増加となる。松本吉郎会長が会見で説明した。

(令和6年8月9日)

■医師偏在対策「1000億円規模の基金を」 － 日医、政府に提言 －

政府が検討を進めている医師偏在対策について、8月21日、独自に提言を発表した。「医師少数地域」への開業支援など、5つの施策の必要性を主張。これらを今後5～10年で進めるため、偏在対策に特化した1000億円規模の基金を、政府が来年度予算で創設すべきだと求めている。

推進を求める施策は、次の通り。▽医師少数区域での勤務経験を求める管理者要件を、公的・公立病院にも拡大▽医師少数地域で開業する医師への経済支援▽全国レベルの医師マッチング支援▽保険医療機関の管理者の要件に、卒後一定期間の保険診療実績を追加▽地域に必要な医療機能を担うことへの要請の枠組みを制度化－。

松本会長は会見で、「未曾有の超高齢・人口減少社会を迎える中で、適切な医療を提供して

いくため、国レベルで検討すべき施策をまとめた」と述べた。

●医師少数地域での開業、「資金支援策を」

地域医療支援病院では管理者要件として、少数区域での勤務経験を、2020年度に臨床研修を始めた医師から求めている。これを、公的・公立病院にも拡大するイメージだ。今後、医師免許を取得する医師のキャリア形成に配慮する。臨床研修医への導入や、後期研修医などの研修で少数地域の研修期間を延ばすプログラムも検討する。

少数地域での開業支援では、診療所開設から一定期間の資金支援策を創設すべきだとした。少数地域で働く勤務医や開業医の確保・派遣の強化も図る。

松本会長は、診療所医師の高齢化や後継者不足といった課題を指摘。「承継面での支援も必要」と訴えた。

外来医師多数区域で新規開設を希望する医師には、地域で不足する医療機能を要請。一定期間後に、▽初期救急▽時間外診療▽在宅医療▽公衆衛生活動▽学校医への参画－といった実績を確認する仕組みなどが考えられるとした。

●「インセンティブ」が大前提

松本会長は、これらの施策の推進に当たって、「補助金などによるインセンティブを設けるのが大前提」と強調。特に、診療所を承継する医師・医療機関、勤務する医師、医師を派遣する病院にインセンティブが必要だとして、基金の創設を訴えた。

医師偏在の是正に向けては、「一つの手段で解決するような魔法の杖は存在しない」と改めて指摘。今回発表した提言内容は、地域の実情に応じた都道府県での議論や、地域医療対策協議会での取り組みの充実が前提になるとした。

日医は今後、政府・与党への要望活動も検討する。

(令和6年8月23日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合は、

2025年、創立40周年を迎えます。これからも相互扶助の精神に基づき、県医師会・郡市医師会と連携し、主に医業・保険・くらしのサポートを提供しながら、組合員先生方の経済的地位の向上と医業経営の支援に取組みます。

事業内容

購買事業



医療機器、医療用消耗品、
医学書・書籍などの
販売・斡旋
(医師協割引適用)

カード事業



宮崎県内の
医療従事者だけが
取得できる優遇カード
(当組合メディカルカード)の提供

斡旋事業



マンション住宅、
車両などの斡旋
(医師協割引適用)

保険事業



団体割引を適用した
医師賠償責任保険、所得補償保険、
傷害保険、自動車保険、
火災保険などの提供

教育情報事業



医業経営支援(事業承継などを含む)事業、
無料ドクターバンク事業を展開



各種お申し込み・お問い合わせ先

宮崎県医師協同組合

〒880-0023
宮崎市和知川原1丁目101
宮崎県医師会館1F

TEL 0985-23-9100

平日 9:00~17:30

FAX 0985-23-9179

Mail isiky@miyazaki.med.or.jp



当組合ホームページを
ご覧ください



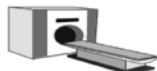
先生方へ 医療機器購入検討に関するお願い

医療機器購入の第一報は医師協へ

メーカーへの見積りは最初の見積りで決定します。

まず、医師協同組合へのお見積り依頼をお願いします。
医師協同組合に窓口を一本化することにより複数メーカーの比較検討が可能になります。

医療機器のことなら
是非、医師協同組合にご連絡ください！



医師協同組合に第一報をいただければ、有利な条件でご案内することが可能になります。また、提携リース会社によるリースのご提案(相見積りによる良い条件の選択)が可能。

■医療機器お問合せシート

医 療 機 器 名 (形式やメーカー名)	見積り 希望	パンフレット 希望	詳細説明 希望	デモ 希望
	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐

※ご希望の欄に□に✓をつけて下さい。

ご意見・ご質問がございましたらお気軽にご記入ください。

住 所	
医療機関	
担当者名	
TEL	

宮崎県医師協同組合

TEL : 0985-23-9100

F A X : 0985-23-9179

医師国保組合だより

宮崎県医師国民健康保険組合第131回通常組合会

と き 令和6年7月18日(休)

ところ 県 医 師 会 館

神尊仮議長の開会宣言後、議長に原田雄一先生（宮崎市郡医師会支部）、副議長に野邊俊文先生（都城市北諸県郡医師会支部）が選出された。はじめに令和5年度中にご逝去された4名の組合員に対し弔意黙祷を捧げた後、秦理事長の挨拶があり、佐々木常務理事から、医師国保組合の統合・合併などの組織再編に関する報告があった。続いて議事では、令和5年度事業報告、歳入歳出決算、歳入歳出差し引き剰余金の処分の3つの議案について審議を行い、原案どおり可決承認された。また議事終了後、任期満了にともなう役員改選（理事および監事の選任）を行った。その概要は次のとおり。

1 報 告

医師国保組合では、定率国庫補助の削減・廃止や、被保険者数の減少、高額医療費や高額薬剤の発生にともない財政状況が年々厳しさを増しており、全国医師国民健康保険組合連合会（以下、「全医連」）においては、10年ほど前から統合・合併などの組織再編の議論が行われている。また、九州ブロックでも当該議論が高まり統合・合併に向けたシミュレーションもなされているところであるが、全医連が行った統合・合併に関する調査では、7割の組合が現在の組織を維持優先するとの結果が出ている。

当組合としても、一人当たりの医療費や保険料が他県と比較して安いこと、また構成員に従業員がいないため負担が少ないことなどの理由により、現時点では現在の組織を維持し、統合・合併には慎重な姿勢を取るという結論に至っている。

2 議 事

議案第1号 令和5年度事業報告について

月平均被保険者数は1,351名であった。過去10年間の推移を見ると、年々数パーセントずつ減少しており、少子化の影響もあって家族の減少が著しい。

療養諸費の保険者負担額は2億995万円あまりで、コロナ5類移行後の本年度は、受診抑制傾向にあった昨年度までと比較すると増加傾向にあり、特に年度後半にかけて増加した。

特定健診の受診率は42.08%、特定保健指導の実施率は4.26%でいずれも前年度を上回ったが、国の掲げる目標値には到達していない。今後も未受診者への受診勧奨に積極的に取り組んでいく。

議案第2号 令和5年度歳入歳出決算について

歳入合計は5億4,864万5,501円で、保険料68.1%、国庫支出金7.6%、前期高齢者交付金3.7%、繰越金18.2%などとなった。保険料は3億7,338万余円で、保険料の一部引き上げにより前年度比685万余円増となった。また、前期高齢者数が全国平均を上回ることにより交付される前期高齢者交付金は2,022万余円で、前年度比647万円の増となった。

歳出合計は4億5,148万9,562円で、保険給付費50.3%、後期高齢者支援金等20.2%、総務費・組合会費10.1%、介護納付金9.3%、高額医療費共同事業拠出金5.2%、保健事業費4.7%などとなっている。年々増加傾向にある後期高齢者医療制度および介護保険制度

への拠出額が全体の約3割を占め、保険料引き上げの要因となっている。

5,939円の全額を令和6年度会計へ繰り越すことが可決承認された。

歳入歳出差し引き額は9,715万5,939円で、保険料収入や前期高齢者交付金が増えた一方で、支出において、特に療養諸費、高額療養費、後期高齢者支援金の増額が影響し、単年度収支は245万円あまりの赤字となった。

議案第3号 令和5年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている特別積立金並びに給付費等支払準備積立金は、保有額が法定額を超えているため今期の積立は必要なく、歳入歳出差し引き剰余金9,715万

3 役員改選（理事および監事の選任）

現役員の任期満了にともない、新たに以下の理事10名および監事2名が選任された。

- 【理事】秦喜八郎（宮崎）、石川智信（宮崎）
北村 洋（児湯）、小牧 斎（宮崎）
市来能成（宮崎）、高木純一（宮崎）
玉置 昇（宮崎）、佐々木究（宮崎）
上山貴子（宮崎）、河原勝博（宮崎）

- 【監事】棚田敏文（宮崎）、山路 健（都城）

※括弧は支部名

出席議員 24名（議員定数30名）

- 1 番 市 来 能 成

2 番 牛 谷 義 秀

3 番 内 野 竜 二

4 番 岡 留 敏 秀

5 番 菊 池 安 剛

6 番 木佐貫 博 人

7 番 國 枝 良 行

8 番 神 尊 敏 彦

9 番 佐 藤 潤一郎

10番 田 中 宏 幸

11番 谷 口 二 郎

12番 原 田 雄 一
- 13番 弘 野 修 一

14番 早稲田 真

16番 大 岐 照 彦

19番 安 藤 誠

20番 井 上 英 豪

22番 竹 中 美 香

23番 蟻 塚 高 生

24番 永 友 淳 司

25番 川 西 昭 人

26番 津 曲 俊 郎

27番 杉 原 純 次

28番 石 澤 宗 純

出席理事 9名

- 理 事 長 秦 喜八郎

副理事長 大 坪 睦 郎

副理事長 山 村 善 教

常務理事 佐々木 究

常務理事 石 川 智 信

理 事 高 木 純 一

理 事 玉 置 昇

理 事 北 村 洋

理 事 河 原 勝 博

出席監事 2名

- 監 事 棚 田 敏 文

監 事 山 路 健

任期満了にともなう役員改選結果について

第131回通常組合会終了後開催された理事会において、理事長、副理事長、常務理事が決定し、令和6年7月18日から就任しましたので通知します。任期は、令和8年7月の通常組合会終結時までです。

理 事 長	秦 喜八郎	理 事	北 村 洋	監 事	棚 田 敏 文
副理事長	小 牧 斎	理 事	高 木 純 一	監 事	山 路 健
副理事長	石 川 智 信	理 事	玉 置 昇		
常務理事 (法令遵守担当理事)	佐々木 究	理 事	上 山 貴 子		
常務理事	市 来 能 成	理 事	河 原 勝 博		

令和5年度 宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出決算書

歳 入 合 計	548,645,501円
歳 出 合 計	451,489,562円
歳入歳出差引残額	97,155,939円
(令和4年度繰越金)	99,615,544円)
(積立金繰入金)	0円)
(令和5年度単年度収支)	△ 2,459,605円)

(歳 入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 国民健康保険料	1 国民健康保険料	369,574,000	373,385,500	373,385,500	0	0	3,811,500
2 一部負担金	1 一部負担金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
3 国庫支出金		40,864,000	41,928,048	41,928,048	0	0	1,064,048
	1 国庫負担金	1,509,000	1,832,140	1,832,140	0	0	323,140
	2 国庫補助金	39,355,000	40,095,908	40,095,908	0	0	740,908
4 前期高齢者交付金	1 前期高齢者交付金	19,825,000	20,220,446	20,220,446	0	0	395,446
5 県支出金	1 県補助金	2,000	0	0	0	0	△ 2,000
6 共同事業交付金	1 共同事業交付金	20,403,000	12,257,000	12,257,000	0	0	△ 8,146,000
7 財産収入	1 財産運用収入	170,000	122,540	122,540	0	0	△ 47,460
8 繰入金	1 繰入金	5,000	0	0	0	0	△ 5,000
9 繰越金	1 繰越金	99,603,000	99,615,544	99,615,544	0	0	12,544
10 諸収入		85,000	1,116,423	1,116,423	0	0	1,031,423
	1 加算金・延滞金及び過怠金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
	2 預金利子	1,000	800	800	0	0	△ 200
	3 雑収入	83,000	1,115,623	1,115,623	0	0	1,032,623
歳入合計		550,532,000	548,645,501	548,645,501	0	0	△ 1,886,499

(歳 出)

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 組合会費	1 組合会費	4,991,000	4,421,295	0	569,705	569,705
2 総務費	1 総務管理費	49,889,000	41,384,197	0	8,504,803	8,504,803
3 保険給付費		229,160,044	227,088,289	0	2,071,755	2,071,755
	1 療養諸費	210,718,976	210,717,217	0	1,759	1,759
	2 高額療養費	13,659,798	13,568,526	0	91,272	91,272
	3 移送費	1,000	0	0	1,000	1,000
	4 出産育児諸費	1,500,000	1,000,000	0	500,000	500,000
	5 葬祭諸費	1,140,000	840,000	0	300,000	300,000
	6 傷病諸費	2,140,270	962,546	0	1,177,724	1,177,724
4 後期高齢者支援金等	1 後期高齢者支援金等	92,172,000	91,179,721	0	992,279	992,279
5 前期高齢者納付金等	1 前期高齢者納付金等	223,603	223,259	0	344	344
6 介護納付金	1 介護納付金	41,803,000	41,802,962	0	38	38
7 共同事業拠出金等		23,429,000	23,373,064	0	55,936	55,936
	1 共同事業拠出金	20,410,000	20,410,000	0	0	0
	2 共同事業負担金	3,019,000	2,963,064	0	55,936	55,936
8 保健事業費		24,896,000	21,311,492	0	3,584,508	3,584,508
	1 特定健康診査等事業費	3,610,000	3,299,014	0	310,986	310,986
	2 保健事業費	21,286,000	18,012,478	0	3,273,522	3,273,522
9 積立金	1 積立金	5,000	0	0	5,000	5,000
10 組合債費	1 組合債費	1,000	0	0	1,000	1,000
11 諸支出金	1 償還金及び還付加算金	765,283	705,283	0	60,000	60,000
12 予備費	1 予備費	83,197,070	0	0	83,197,070	83,197,070
歳出合計		550,532,000	451,489,562	0	99,042,438	99,042,438

■健康保険者証について

1 現在ご加入の皆様へ

1) 令和6年10月1日付で健康保険証を一斉更新します

保険証廃止日（令和6年12月2日）以降も期限まで使用できます

健康保険証（以下「保険証」）は今年12月2日付で廃止となり、マイナ保険証（保険証の利用登録がなされたマイナンバーカード）を利用することを基本とする仕組みに移行しますが、現在、本組合にご加入の方には、令和6年10月1日から令和7年12月1日まで有効な保険証（桃色）を今月末ごろに組合員宛てにお送りします。（期間中75歳になる方は、誕生日の前日までが有効期限）

保険証が廃止される令和6年12月2日以降も有効期限まで引き続き使用できますので、誤って破棄しないようご注意ください。

なお保険証廃止日以降は、紛失などによる再発行は行いませんのでご注意ください。

2) 加入者情報（マイナンバーの下4桁）を通知します

情報の正確性を担保し、すべての被保険者の方に安心してマイナンバーカードを保険証としてご利用いただけるように、10月の保険証更新時期に合わせて、組合で把握している加入者情報（マイナンバーの下4桁）を組合員宛てに通知します。世帯全員分を特定記録郵便により送付いたしますので、ご確認をお願いします。

2 保険証廃止日（令和6年12月2日）以降は、「資格情報のお知らせ」または「資格確認書」を発行します

1) マイナ保険証を持っている方

9月に送付する保険証が有効期限を迎える前の令和7年11月ごろに、被保険者資格などを把握できるよう「資格情報のお知らせ」（被保険者資格情報を簡易に記載したもの）を発行します。新たに本組合に加入したときなどにも、申請によらず発行します。

なお、マイナンバーカードを紛失した方や更新中の方、介助者などの第三者が要配慮者に同行して資格確認を補助する必要があるなど、マイナ保険証での受診が困難な場合などには、申請により「資格確認書」を交付します。

2) マイナ保険証を持っていない方

9月に送付する保険証が有効期限を迎える前の令和7年11月ごろに、従来の保険証の代わりとなる「資格確認書」を送付する予定です。また、新たに本組合に加入したときにも、申請によらず発行します。

なお、お手元の保険証を紛失した場合などには資格確認書の申請が必要となりますのでご注意ください。

3 保険証廃止日（令和6年12月2日）以降、保険医療機関などを受診する方法

1) マイナ保険証を持っている方

「マイナ保険証」で受診できます。マイナ保険証の読み取りができない場合などに、マイナ保険証とともに「資格情報のお知らせ」を提示することで受診できます。スマートフォンなどを持っている場合には、マイナポータルにアクセスして資格情報画面をマイナ保険証とともに提示することでも受診できます。「資格情報のお知らせ」のみの提示や、マイナポータルにアクセスして資格情報画面を提示するだけでは受診できませんので、ご注意ください。

2) マイナ保険証を持っていない方

「資格確認書」を医療機関などの窓口で提示することで、これまでと同様に受診できます。

なお従来の保険証をお持ちの方は、有効期限まではこれまでと同様に保険証を使用して受診できます。ご不明な点などがございましたら、当組合までお問い合わせください。

マイナ保険証を利用すれば、事前の手続きなく、高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されます。限度額適用認定証の事前申請は不要となりますので、マイナ保険証をぜひご利用ください。

宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
☎ 0985-22-6588 FAX 0985-27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>



【当組合Webサイト】

8月のベストセラー（宮崎県）

集計：2024年8月1日～8月22日

1	ツミデミック	一穂ミチ	光文社
2	助太刀稼業（二）もどき友成	佐伯泰英	文春文庫
3	暗殺	柴田哲孝	幻冬舎
4	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。Another	汐見夏衛	スターツ出版
5	百年の孤独	ガブリエル・ガルシア＝マルケス	新潮文庫
6	もしも徳川家康が総理大臣になったら	眞邊明人	サンマーク出版
7	頭のいい人だけが解ける論理的思考問題	野村裕之	ダイヤモンド社
8	日ソ戦争	麻田雅文	中公新書
9	母の待つ里	浅田次郎	新潮文庫
10	行動経済学が最強の学問である	相良奈美香	SBクリエイティブ

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

**令和6年7月2日(火) 第4回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について****①宮崎県地域医療対策協議会委員等の推薦について**

→医師確保の推進や関係機関との連携を通じて県内の地域医療提供体制の整備充実を図ることを目的に設置される協議会で、本会の役員改選に伴う後任の推薦依頼があり、協議会と幹事会の委員に大塚常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎県難病対策協議会委員の推薦及び就任について

→難病医療提供体制の整備を目的として設置される委員会で、本会の役員改選に伴う後任の推薦依頼があり、委員に玉置常任理事を推薦することが承認された。

③宮崎県糖尿病・慢性腎臓病（CKD）対策検討会構成員の推薦について

→県民の人工透析導入を予防し医療費の適正化を図ることを目的に設置される検討会の委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、玉置常任理事を推薦することが承認された。

④宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会委員の推薦について

→専門的な見地から検診医療機関を指導すること等を目的に設置される協議会で、本会の役員改選に伴う後任の推薦依頼があり、県医師会卒の大腸がん部会に玉置常任理事を推薦することが承認された。

2. 業務委託について**①令和6年度糖尿病発症予防及び糖尿病性腎症重症化予防研修事業に係る業務の委託契約について**

→糖尿病の診断および治療の方針を定める医師を対象とした研修会を開催し、糖尿病連携手帳の活用や二次医療圏ごとの多職種連携体制を構築する事業で、委託契約を締結することが承認された。

3. 令和6年度県立学校医等に係る報酬基準額について

県立学校の学校医報酬について県教育庁から基準額の提示があり、提示額通り承認された。

4. 12/8(日)（宮崎市）第38回青島太平洋マラソン2024救護態勢へのご協力をお願い

宮崎市において開催されるマラソン大会の救護体制に関する依頼で、協力することが承認された。

(報告事項)**1. 週間報告について****2. 6月末日現在の会員数について****3. 6/26(水)（宮崎市郡医師会館）宮崎市郡医師会定時総会について****4. 6/29(土)（県医）全国有床診療所協議会九州ブロック役員会について****5. 7/2(火)（県防災庁舎）県地方独立行政法人評価委員会について****6. 6/26(水)（県防災庁舎）県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会について****7. 7/1(月)（県医）園医部会理事会について****8. 6/27(木)（小林）社会保険医療担当者の個別指導について**

9. 6/25(火) (国保連合会) 県国民健康保険等
はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧
療養費審査委員会

10. 6/29(土) (県医) 死体検案研修会について
医師連盟関係

(議決事項)

1. 7/25(木)・26(金) (宮崎市民プラザ) 公明党
宮崎県本部「政策要望懇談会」開催のご案内
7月25日(木)・26日(金)に開催される懇談
会で、要望内容としては自民党への国政に
対する要望を利用すること等が承認され
た。なお、懇談会には出席せず、書面で要
望を行うこととなった。

令和6年7月16日(火) 第7回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県障害者施策推進協議会委員の推薦
並びに就任承諾について
→障がい者に関する施策の総合的かつ計
画的な推進を目的に設置される協議会
の委員について、任期満了に伴う推薦
依頼があり、金丸副会長を推薦するこ
とが承認された。
- ②宮崎大学医学部医の倫理委員会委員の推
薦について
→人を対象とした医学研究の倫理審査を
行う委員の委嘱依頼で、上山理事を推
薦することが承認された。
- ③宮崎大学医学部認定再生医療等委員会委
員の推薦について
→診療や研究において再生医療を提供す
る際に審査を行う委員の委嘱依頼で、
上山理事を推薦することが承認された。
- ④宮崎県ジェネリック医薬品安心使用促進
協議会委員の推薦について
→県民が安心してジェネリック医薬品を
使用できる環境を整備すること等を目

的に設置される委員会で、本会役員改
選に伴う推薦依頼があり、地域医療担
当の大塚常任理事を推薦することが承
認された。

- ⑤宮崎県公害健康被害認定審査会委員の推
薦について

→公害による健康被害の認定や障害程度
の決定等を行う審査会で、委員の任期
満了に伴う推薦依頼があり、引き続き
峰松理事を推薦することが承認された。

- ⑥宮崎県公害審査会委員の推薦について

→公害紛争の解決を図ることを目的とし
た審査会で、新規の委員推薦依頼があ
り、環境公害問題担当の峰松理事を推
薦することが承認された。

- ⑦宮崎県アドバンス・ケア・プランニング
推進委員会の委員の推薦について

→アドバンス・ケア・プランニングの普
及啓発を図ることを目的に設置されて
いる委員会で、本会役員改選に伴う委
員推薦依頼があり、内藤理事を推薦す
ることが承認された。

- ⑧宮崎県感染症対策連携協議会会員役職の
変更について

→感染症対策に係る関係者間の平時から
の意思疎通、情報共有、連携の推進を
図ることを目的に設置されている協議
会で、本会役員改選に伴う推薦委員の
確認があり、金丸副会長を推薦するこ
とが承認された。

- ⑨宮崎県医療審議会委員の推薦について

→医療法に基づく諮問機関として設置さ
れる審議会で、辞任に伴う推薦依頼が
あり、筆頭副会長である小牧副会長を
推薦することが承認された。

2. 業務委託について

- ①令和6年度救急医療施設医師等研修業務
の委託契約について

→救急医療に対する学識と技能向上を図
ることを目的とした研修事業で、委託
契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①11/16(土)・17(日) (宮大医学部) 第20回清
花祭清武キャンパス医学展の名義後援に
ついて

→宮崎大学学園祭の清花祭において医学
部の学生が医学・医療に関する展示発
表を行う医学展で、名義後援を行うこ
とが承認された。

**4. 9/28(土) (宮観ホテル) 令和6年度女性医
師支援・ドクターバンク連携九州ブロック
会議の開催について**

各県医師会におけるドクターバンクの取
り組みや女性医師支援等について報告等
を行う会議で、河野会長、金丸副会長、男女
共同参画担当理事である荒木・落合常任理
事、上山・田畑・松岡・内藤理事のほか、
男女共同参画委員会委員長である嶋本常任
理事の出席が承認された。

**5. 令和6年度公衆衛生事業功労者表彰 (日本
公衆衛生協会会長表彰) の推薦について**

公衆衛生事業のために永年にわたり献身
的かつ模範的な活動を続けてきた方を表彰
するための推薦依頼で、各郡市医師会に照
会の結果、2名を推薦することが承認された。

6. 世界医師会準会員の更新について

本会から河野会長、小牧・金丸副会長を
登録すること及び個人登録の会員について
は意向を確認のうえ手続きをすることが承
認された。

**7. 県医師会会員名簿 (令和6年版) の作成に
ついて**

隔年で作成している本会会員名簿につい
て、前回同様の掲載内容で作成すること承
認された。

**8. 8/29(木) (県医) 医師の働き方改革Web研
修会の開催について**

今年度から施行された医師の働き方改革
に関するWeb研修会を開催することが承認
された。

**9. 9/7(土) (静岡) 第74回全国医師会医療秘書
学院連絡協議会定例総会等の開催について**

医療秘書学院を設置する都道府県医師会
等をもって組織される協議会で、金丸副会
長と池井常任理事の出席が承認された。

**10. 11/8(金) (シーガイア) 令和6年度九州医
師会連合会学校医会評議員会並びに総会
の開催について**

全国学校保健・学校医大会と併せて開催
する評議員会と総会で、河野会長、小牧副
会長、高木常任理事の出席が承認された。

**11. 11/10(日) (シーガイア) 令和6年度九州学
校検診協議会第1回専門委員会並びに役員
会について**

九州学校検診協議会が主催する専門委員
会と役員会で、専門委員会には高木常任理
事、宮田純一先生、澤田浩武先生、帖佐悦
男先生、黒木浩史先生が、役員会には河野
会長、小牧・金丸副会長、高木常任理事の
出席が承認された。

**12. 日医かかりつけ医機能研修制度令和6年度
応用研修会第1回の開催について**

日医かかりつけ医機能研修制度における
応用研修に規定した中央研修で、本県では
10月13日(日)に録画映像を放映する研修会
を開催することが承認された。

**13. 8/21(水) (県医) 診療報酬改定説明会の開
催について**

ベースアップ評価料や生活習慣病にかか
る医学管理料の見直し等について、現場の
声を日本医師会に届けることを目的として
開催する説明会で、日本医師会から釜苞副
会長と城守常任理事をお迎えして8月21
日(水)に開催することが承認された。

**14. 令和7年度地域医療介護総合確保基金 (医
療分) に係る事業提案について**

「地域医療構想の達成に向けた医療機関
の施設又は設備の整備」、「居宅等におけ
る医療提供」、「医療従事者等の確保」に
関する事業提案を、各郡市医師会、各専門

分科医会，県医師会病院部会，県精神科病院協会，県有床診療所協議会に照会することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 7/12(金) (長崎) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について
3. 7/13(土) (熊本) 九医連常任委員会について
4. 7/3(水) (県総合保健センター) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議について
5. 7/4(木) (県防災庁舎) 県循環器病対策推進協議会について
6. 7/9(火) (県庁) 県総合計画審議会について
7. 7/12(金) (宮観ホテル) 病院部会・医療法人部会定時総会について
8. 7/10(水) (延岡) 全国学校保健・学校医大会特別講演打合せ会について
9. 7/8(月) (宮大医学部) 宮大医学部地域枠全体ミーティングについて
10. 7/13(土) (宮観ホテル) 県専門研修プログラム合同説明会について
11. 7/11(木) (第一宮銀ビル) 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会について
12. 7/6(土)・7(日) (熊本) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会について
13. 6/26(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について
14. 7/4(木) (県庁) 地方公務員災害補償基金県支部審査会について
15. 7/6(土) (県医) 労災部会総会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 7/29(月) (東京) 敬人会勉強会のご案内について
「歴史的転換期の日本の医療制度」をテーマに武見敬三厚生労働大臣の講演が行われる勉強会で，協力することが承認された。

(報告事項)

1. 7/13(土) (熊本) 九州医連連絡会常任執行委員会について

2. 7/9(火) (日医) 日医連執行委員会について

令和6年7月30日(火) 第8回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

疾病による日医及び県医会費減免の継続1名，高齢による日医会費減免の新規2名，名誉会員による県医会費免除の2名の申請が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について

→後期高齢者の療養費の適正化について検討する研究会の委員について，任期満了に伴い内科2名，整形外科2名の委員の推薦依頼があり，本会役員から吉見常任理事と河原理事，残り2名については現委員に再任の方向で意向を確認し，必要があれば専門分科医会に人選をお願いし推薦することが承認された。

②宮崎県循環器病対策推進協議会委員の推薦及び就任について

→県循環器病対策推進計画の策定，進捗管理，評価等を協議するために設置される委員会の任期満了による委員の推薦依頼があり，玉置常任理事を推薦することとなった。

③宮崎県障がい者差別解消支援協議会委員の推薦及び就任承諾について

→「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい宮崎県づくり条例」に基づき設置される協議会で，任期満了に伴う推薦依頼があり，金丸副会長を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①10/5(土) (宮崎市民プラザ) 第14回宮崎健康フォーラムの名義後援について

→「自然災害から身を守るために今できること」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②10/14(月) (小林市文化会館)「世界糖尿病デー」市民公開講座の後援について

→糖尿病や肥満に関する理解を深めることを目的に開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

③11/16(土) (ホテルニューウェルシティ宮崎)「日本緩和医療学会第6回九州支部学術集会」後援について

→「つなぎ目のない緩和医療提供のために～一歩先で考える～」をテーマに開催される九州支部学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 9/17(火) (日医) 令和6年度第1回都道府県医師会長会議の開催について

河野会長が出席することが承認された。また、今回のテーマである「災害医療」に関し意見や質問があれば、事務局に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

5. 8/24(土) (熊本) 九州医師会連合会第417回常任委員会並びに第127回定例委員総会の開催について

常任委員会については河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局へ提出し取扱いについては会長に一任することが承認された。定例委員総会については、河野会長を含む8名の九医連役員の出席を確認したうえで回答することが承認された。

6. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する委員会について、医療秘書認定試験委員会に池井常任理事が就任することが承認された。

7. 県医師会の各種委員会について

本会に設置される33の委員会のうち30の委員会について、定款第57条及び県医

師会委員会規程に基づき、委員構成及び委員長・副委員長を決定した。

8. 10/27(日) (日医) 第68回社会保険指導者講習会の受講申し込みについて

5年ぶりに開催される講習会で、嶋本常任理事を中心に参加者等を検討することとなった。また、後日、本県で伝達講習会を開催することが承認された。

9. 「令和7年度病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」及び「病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備」に係る事業実施意向調査について

急性期病床から回復期病床への転換や再編統合等の際の補助事業に関する意向調査について、各郡市医師会を通じて調査に協力することが承認された。

10. 8・9月の行事予定について (報告事項)

1. 週間報告について

2. 7/17(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について

3. 7/21(日) 全国有床診療所協議会理事会・常任執行委員会について

4. 7/23(火) (東京) 日医役員就任披露パーティについて

5. 7/26(金) (県医) 県がん診療連携協議会について

6. 7/17(水)・22(月) (県医) 広報委員会について

7. 7/25(木) (福岡) 九州地方社会保険医療協議会総会について

8. 7/24(水) (県防災庁舎) 県精神科救急医療システム連絡調整委員会について

9. 7/26(金) (県医) 全国学校保健・学校医大会懇親会打合せ会について

10. 7/25(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

11. 7/25(木) (えびの) ロコモ予防運動推進事業養成講座について

12. 7/25(木) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧療養費審査委員会について

13. 7/29(月) (県医) 組織強化・将来構想委員会小委員会について

14. 7/25(木) (県医) 県糖尿病対策推進会議幹事会について

15. 7/19(金) (県医) 県有床診療所協議会役員会について

16. 7/18(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の新規個別指導について

17. 7/18(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の個別指導について

18. 7/20(土) (県医) 産業医研修会(実地)について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 8/24(土) (熊本) 九州医連連絡会第25回執行委員会の開催について

河野委員長を含む8名の九州医連連絡会

執行委員の出欠を確認したうえで回答することが承認された。

2. 9/12(木) (宮観ホテル) 三師会懇談会の開催について

河野委員長他5名の参加と、提出議題があれば事務局を経由して委員長に提出し、取扱いについては委員長一任とすることが承認された。

(報告事項)

1. 7/20(土)三師会会長会について

2. 7/26(金) (宮観ホテル) 自民党県連国・県に対する政策・予算等要望ヒアリングについて

3. 7/23(火) (日医) 日医連執行委員会について

4. 郡市区等医師会(医師連盟)主催会合に係る情報提供について

お知らせ

令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和7年3月末卒業予定者

【就職希望者】 12名(男0名, 女12名)

【就職希望地】 宮崎市内8名, 都城2名, 延岡・日向2名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL: 0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

キャリア教育センター センター長 河野 豪

県 医 の 動 き

(8月)

1	県地方独立行政法人評価委員会（小牧副会長） 勤務医部会理事会（Web会議）（金丸副会長他）
2	女性医師等保育支援サービスシステム事業サ ポート会員養成講座（荒木常任理事他） 全国医師国保組合連合会代表者会 県外科医会夏期講演会（Web会議） 広報委員会勉強会（荒木常任理事他）
3	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 産業医研修会（前期）（吉見常任理事）
5	損保ジャパンとの懇談会（会長他）
6	県感染症対策連携協議会（峰松理事） 第5回常任理事協議会（会長他）
7	県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会 （大塚常任理事）
8	県総合計画審議会（金丸副会長） 県産婦人科医会全理事会（Web会議）（上山理事） 生活習慣病検診各部会長連絡協議会（Web会議） （会長他）
9	令和6年能登半島地震JMAT活動報告会 （Web会議）（落合常任理事）
10	県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研 修会（池井常任理事）
14	支払基金審査運営協議会（会長）
17	九州地区医師国保組合連合会理事会・全体協 議会（小牧副会長他）
18	中四九地区医師会看護学校協議会（Web会議） （赤須常任理事） 職員採用試験（一次）
19	広報委員会（荒木常任理事他） 組織強化・将来構想委員会小委員会（Web会議） （小牧副会長他） 全国有床診療所協議会臨時社員総会（Web会議） （会長）

20	第9回全理事協議会（Web会議）（会長他）
21	各専門分科医会長会（会長他） 県医療報酬改定説明会（Web会議）（会長他）
22	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療 養費審査委員会（大塚常任理事） 県地域医療対策協議会プログラム運用部会 （大塚常任理事） 県地域医療対策協議会（会長他） 県内科医会医療保険委員会（玉置常任理事）
23	医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議
24	九医連常任委員会（会長） 九医連定例委員総会（会長他） 九州医連連絡会執行委員会（委員長他）
25	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 （吉見常任理事）
26	勤務医部会総会・前期講演会（Web会議） （金丸副会長他）
27	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 医協理事会（理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（理事長他） 第10回全理事協議会（会長他） 役職員懇談会（会長他）
28	日医医療秘書認定試験委員会（Web会議） （池井常任理事） 労災診療指導委員会（赤須常任理事他）
30	県との妊婦健診等に関する協議会 （嶋本常任理事他）
31	保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合 わせ会（荒木常任理事他） 産業医研修会（前期）（池井常任理事） 在宅医療協議会総会・研修会（Web会議） （吉見常任理事他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和6年8月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 4人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	2	1	1
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 99人

	合 計
令和6年度(4/1～8/1)	2
平成16年度から累計	99

3. 求人登録 101件 285人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	91	68	23	消 化 器 外 科	4	3	1
外 科	22	19	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	19	16	3	健 診	3	3	0
精 神 科	12	10	2	泌 尿 器 科	2	2	0
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	14	11	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	24	18	6	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	5	5	0	婦 人 科	1	1	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	12	8	4
小 児 科	3	2	1	リ ウ マ チ 科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	0	0	0
総 合 診 療 科 ・ 内 科	11	7	4	診 療 科 目 不 問	5	2	3
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	11	7	4	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	6	4	2
リハビリテーション科	5	3	2	そ の 他	2	2	0
救 命 救 急 科	7	4	3	合 計	285	218	67

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外	1	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ	2	非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のざきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	一社) 都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 なんごう病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和6年8月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡（691.16坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡（424.38坪） ※別途駐車場あり（20台）	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡（1,348.18坪） 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡（250.20坪） ※駐車場あり（70台）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡（501.38坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡（251.33坪） ※駐車場あり（50台）	所有者：（医）社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 都城市東町10街区18号 土地：614.18㎡（186.11坪） 建物：鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡（293.49坪） ※駐車場あり（3台） 別に隣接病院駐車場あり（応相談） ※賃貸部分は，2階，3階（グループホームやすらぎ）	所有者：都城市北諸県郡医師会員 （医）与州会 柳田病院
	③ 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地：750.44㎡（227.40坪） 建物：木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡（99.62坪） ※駐車場あり（15台）	所有者：宮崎市郡医師会員 （医）健心会 滝口内科医院 （旧）のぞみ医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地（宮崎県医師協同組合）

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年8月30日

9			月		
1	日	10:00 職員採用試験（二次）			
2	月	18:00 県認知症疾患医療センター合同 会議（Web会議） 19:00 県内科医会理事会	17	火	14:10 都道府県医師会会長会議 16:15 日医連かまやちさとし決起大会 19:00 組織強化・将来構想委員会小委 員会（Web会議）
3	火	19:00 第6回常任理事協議会 終了後 母体保護法指定医師審査委員会	18	水	16:00 支払基金審査運営協議会
4	水	19:00 土曜会（報道機関支局長の会） との懇談会	19	木	18:30 学校医部会総会 18:30 社会保険医療担当者の集团的 個別指導 19:00 園医部会総会・研修会 19:00 県産婦人科医会性教育指導セ ミナー全国大会引継ぎ・報告会
5	木				
6	金	15:00 県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会理事会（Web会議） 19:00 未来の医療を語るオールみやざ き交流会 19:00 認知症サポート医・かかりつけ医 スキルアップ研修会（Web会議）	20	金	19:00 医師国保組合理事会
			21	土	14:00 県小児科医会子ども健康セ ミナー（Web会議）
			22	日	（秋分の日）
7	土	15:30 県医師会医学会（Web会議） 15:30 全国国保組合協会九州支部幹事 会・総会・役職員研修会 16:00 全国医師会医療秘書学院連絡協 議会定例総会等	23	月	（振替休日）
8	日	9:00 人体シミュレータを用いた小児 在宅医療実技講習会	24	火	18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第12回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会
9	月	19:00 男女共同参画委員会（Web会議）	25	水	13:30 全国国保組合協会理事長・社 役員研修会 15:00 労災診療指導委員会・労災 部会理事会 19:00 広報委員会
10	火	19:00 第11回全理事協議会（Web会議）			
11	水	19:00 広報委員会 19:00 医学会誌編集委員会（Web会議）	26	木	14:30 県国保等はり、きゅう及び あん摩マッサージ療養費審 査委員会 18:00 九州地方社会保険医療協議 会宮崎部会 18:00 医師クランク育成・スキル アップ研修会（Web会議） 19:00 県有床診療所協議会総会・ 講演会（Web会議）
12	木	15:00 宮大医学部医の倫理委員会 19:00 三師会懇談会 19:00 県産婦人科医会常任理事会 （Web会議）			
13	金	19:00 厚生労働省迫井医務技官との意見 交換会	27	金	
14	土	10:00 ロコモ予防運動推進事業養成講座 15:00 県産婦人科医会秋期定時総会・学 術講演会（Web会議）	28	土	14:00 日医女性医師支援・ドクターバン ク連携九州ブロック会議
15	日		29	日	
16	月	（敬老の日）	30	月	19:00 健康教育委員会（Web会議） 19:00 県内科医会会誌編集委員会

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年8月30日

10				月					
1	火	19：00 第7回常任理事協議会		17	木				
2	水			18	金				
3	木	14：00 宮大医学部医の倫理委員会 19：00 健康スポーツ医学委員会 (Web会議)		19	土	16：30 九医協連通常総会	↑		
4	金	19：00 労災部会自賠委員会 (Web会議) 19：45 損害保険医療協議会 (Web会議)		20	日				
5	土	14：00 九州医師会勤務医部会担当理事 連絡協議会		21	月	14：00 労災診療費算定実務研修会 (Web会議)	↑ 国 保 審 査 ↓		
		15：00 県警察医会総会・特別講演会		22	火	14：30 県国保等はり、きゅう及び あん摩マッサージ療養費審 査委員会			
		16：00 九医連常任委員会							
		16：00 九医連各種協議会							
6	日	18：10 九医連各種協議会報告会		23	水	19：00 広報委員会			
		12：30 県小児科医会役員会					24	木	13：00 産業保健活動推進全国会議 (Web会議)
		13：30 宮崎から医師をめざそう！応援 フォーラム							
7	月	14：00 県小児科医会秋季学術講演会		25	金		↓ 社 保 審 査		
8	火	19：00 宮崎大学と県医師会との懇談会		26	土	9：00 ICLS指導者養成ワークシ ョップ			
9	水	18：00 県感染症対策連携協議会				10：00 全国医師会勤務医部会連絡 協議会			
10	木	19：00 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎 (会長他)		27	日	8：30 ACLS研修会			
		19：00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)				10：00 日医社保指導者講習会 10：00 福岡県医師会勤務医交流会			
11	金			28	月	15：30 県感染症対策審議会			
12	土	12：30 全国医師国保組合連合会代表者 会・全体協議会		29	火	18：00 九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会			
13	日	10：00 日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修会				18：30 医協理事会 19：00 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第14回全理事協議会			
14	月	(スポーツの日)		30	水	15：00 労災診療指導委員会・労災部会 理事会			
15	火	19：00 第13回全理事協議会 (Web会議)				18：00 県HPVワクチン接種情報共有会・ 麻しん風しん対策推進会議・予 防接種広域化検討会議			
16	水	16：00 支払基金審査運営協議会 19：00 広報委員会							
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になります。				31	木	医療保険請求事務実技試験			

日本医師会からのお知らせ

作品
募集中

生命

いのち

第8回

を見つめる フォト&エッセー

フォト
部門

エッセー
部門

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

審査員 (順不同、敬称略)

■ フォト部門

熊切大輔
日本写真家協会会長

岩合光昭
動物写真家
©Machi Iwano

奈緒
俳優

■ エッセー部門

養老孟司
東京大学名誉教授
/ 解剖学者

玄侑宗久
作家 / 福泉寺住職

水野真紀
俳優

応募締め切り

2024年
10月2日(水)
必着

公式ホームページ <https://jigyoku.yomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



生命の尊さを感じさせる、あるいは生命の輝く瞬間をとらえた作品を募集します。人、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、**2021年6月1日以降**に撮影したものに限ります。
- 応募は1人3点まで。生成AIを利用して作成・編集した作品は応募できません。



一般の部

厚生労働大臣賞(1点) 賞金**10万円**、賞状他
日本医師会賞(1点) 賞金**10万円**、賞状他
読売新聞社賞(1点) 賞金**10万円**、賞状他
審査員特別賞(数点) 賞金**5万円**、賞状他
入選(数点) 賞金**3万円**、賞状他

小中高生の部

文部科学大臣賞(1点) QUOカード**3万円**、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード**5,000円分**、賞状他

応募締め切り
2024年10月2日(水) 必着

応募規定

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限ります。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 応募作品は返却いたしません。
- 入賞作品の発表は、2025年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイト、作品と実名、年齢、顔写真、学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
- 表彰式は2025年2月に東京都内で実施予定です。
- 医師および医療従事者も応募可能です。

※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。



〒104-0061

東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F
「生命を見つめるフォト&エッセー」係



病気やけがをした時の医師や看護師との交流、ご家族の介護や生命の誕生にまつわる話などを募集します(お世話になった医師や看護師らに宛てた「感謝の手紙」などでも可)。また、医師(医学生も含む)の皆さんからは医師になろうと思ったきっかけやエピソードなどもお待ちしております。

小学生の部では、日々の生活の中で生命の大切さを感じた出来事などをお送りください。

【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。

【小学生高学年の部(4~6年生)】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。

【小学生低学年の部(1~3年生)】800字(原稿用紙1~2枚)以内。

■応募は1人1点。生成AIを利用して作成した作品は応募できません。



一般の部

厚生労働大臣賞(1点) 賞金**30万円**、賞状他
日本医師会賞(1点) 賞金**30万円**、賞状他
読売新聞社賞(1点) 賞金**30万円**、賞状他
審査員特別賞(数点) 賞金**10万円**、賞状他
入選(数点) 賞金**3万円**、賞状他

中高生の部

文部科学大臣賞(1点) QUOカード**3万円分**、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード**5,000円分**、賞状他

小学生高学年の部

文部科学大臣賞(1点) QUOカード**1万円分**、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード**5,000円分**、賞状他

小学生低学年の部

文部科学大臣賞(1点) QUOカード**5,000円分**、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード**3,000円分**、賞状他

応募方法

- ◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ(<https://jigyoku.yomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
- ◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
- ◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。

公式ホームページ
QRコード

【問い合わせ】

読売新聞東京本社 社会貢献事業室「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局
Tel:03-3216-8598(平日10:00-17:00)

応募用紙

応募部門

フォト部門
一般の部フォト部門
小中高生の部エッセー部門
一般の部エッセー部門
中高生の部エッセー部門
小学生高学年の部
(4~6年生)エッセー部門
小学生低学年の部
(1~3年生)

題名	氏名		
住所	都 道 府 県		歳 年 月 日 生
Eメール	TEL () -		
職業(学校名・学年)			
フォト部門のみ	撮影年月日	撮影場所	撮影機材
202	年 月 日		
入選の チェック を	☐ この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません ☐ この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません ☐ 入賞作品は、主催者、協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名、年齢、作品、顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します ☐ (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません		
きつかけ	(1)チラシ (2)学校(小・中・高・大・専門) (3)読売新聞(紙面・ホームページ) (4)日本医師会(ホームページ・YouTube・LINE公式アカウント) (5)公募サイト(サイト名:) (6)その他(具体的に:)		

※氏名は実名のみ受付となります。応募用紙をフォト部門は写真の裏側に、エッセー部門は作品の右上に留めてください。1作品に1枚、応募用紙が必要です。

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 (Web講演会) 9月5日(木) 19:00～20:10 都城ロイヤルホテル ※受講は現地またはWeb	皮膚科医から見た帯状疱疹ワクチンの重要性 ～シングリックス最新の知見を含めて～ 福岡大学医学部 皮膚科学教室 教授 今福 信一	26 (1.0)	◇主催 都城市北諸県郡内科医会 ◇共催 グラクソ・スミスクライン(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
南那珂医師会地域保健医学会 9月6日(金) 19:00～20:00 南那珂医師会館2階大ホール	高齢者のひとり暮らしを支えていくために 九州医療科学大学社会福祉学部 教授 川崎 順子	12 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411
令和6年度宮崎県医師会医学会 (Web講習会) 9月7日(土) 15:30～17:35 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	難聴は認知症の最大のリスク～難聴治療の最前線～ 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 教授 高橋 邦行	38 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	医師偏在対策の政策パッケージ 慶應義塾大学 名誉教授 印南 一路	6 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第35回宮崎県糖尿病教育セミナー 9月8日(日) 9:55～16:40 新富町文化会館イベントホール 参加費：3,000円	糖尿病とともに生きる人へのアプローチ 日南市立中部病院 糖尿病看護認定看護師 山下 加代子	4 (1.0)	◇主催 ※宮崎県糖尿病懇話会 ☎0985-22-8015 ◇共催 宮崎地域糖尿病療養指導士認定機構 ノボノルディスクファーマ(株)
	2型糖尿病の薬物治療について 宮崎大学医学部 内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 助教 上平 雄大	76 (1.0)	◇後援 宮崎県医師会 児湯医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県病院薬剤師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会
	当院の紹介と糖尿病に配慮した本日のお弁当について 川南病院 管理栄養士 那須 智子	76 (0.5)	宮崎県栄養士会 宮崎県臨床検査技師会 宮崎県糖尿病療養指導士会 宮崎県糖尿病対策推進会議
	在宅療養高齢者のDM管理～私なりの視点～ 大貫診療所 理事長・院長 榎本 雄介	12 (0.5)	
	高齢者のサルコペニア・フレイル ～今日からできる！予防策とそのコツ～ 平和台病院 看護師・健康運動指導士 鞍掛 加代子	73 (0.5)	
	認知症と糖尿病 独立行政法人国立病院機構 宮崎病院 認知症認定看護師 木原 梓	76 (0.5)	
	歯周病と全身疾患 たけしま歯科医院 院長 竹島 昌宏	73 (0.5)	
	災害時の薬剤対応の事例と対策 宮崎県薬剤師会 災害委員会 理事 くども薬局 薬剤師 木山 允	12 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第187回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 9月9日(月) 18:55～20:10 宮崎観光ホテル東館2階「初雁の間」 ※受講は現地またはWeb	これを聞けば不整脈治療のこれからがわかる ～不整脈治療フォーカスアップデートを深読みする～ 日本大学医学部附属 板橋病院 循環器内科部長 教授 奥村 恭男 他	9 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 アボットメディカルジャパン(同) トーアエイヨー(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
西都市西児湯内科医会・児湯内科医会学術講演会 (Web講習会) 9月11日(水) 19:00～20:00 西都市西児湯医師会館 ※受講は現地またはWeb	リウマチ診療におけるPatient-Centered Careを考える 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経会科学分野 准教授 梅北 邦彦 他	61 (1.0)	◇主催 西都市西児湯内科医会 ◇共催 児湯内科医会 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 児湯医師会 エーザイ(株)
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 (Web講習会) 9月12日(木) 19:00～20:20 KITTO小林 ※受講は現地またはWeb	関節リウマチ日常診療と高齢化社会 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 准教授 梅北 邦彦	61 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-22-1331 ◇共催 西諸内科医会 アッヴィ(同)
在宅医療介護連携推進事業にかかる行政説明会 (Web講習会) 9月12日(木) 19:00～20:00 宮崎市郡医師会病院医師会館講堂 ※受講は現地またはWeb	いきいき手帳について 宮崎市地域包括ケア推進課 日野 莉奈 他	13 (1.0)	◇主催 ※宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター ☎0985-77-9106

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月13日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	高ストレス者に対する面接指導のポイントや対応について 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和6年度宮崎県 緩和ケア研修会 9月14日(土) 8:35～16:50 県立宮崎病院1階 講堂	e-learningの復習・質問 県立宮崎病院 緩和ケア科 主任部長 義川 祐子 他	15 (0.5)	◇主催 ※県立宮崎病院 ☎0985-24-4181
	コミュニケーション 県立宮崎病院 精神科 医長 並木 薫 他	4 (1.5)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア 宮崎医療センター病院 緩和ケア内科 部長 高橋 稔之 他	10 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 藤木病院 院長 藤木 啓 他	13 (1.5)	
	がん患者等への支援 県立宮崎病院 患者支援センター 師長 谷川 ルミ 他	5 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度宮崎県 産婦人科医会・宮 崎県産科婦人科学 会秋期定時総会・ 市民公開講座・学 術講演会 (Web講習会) 9月14日(土) 15:00～18:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	悪性脳腫瘍の診断と集学的治療 宮崎大学医学部 臨床神経学講座 脳神経外科学分野 教授 沖田 典子	0 (1.0)	◇主催 宮崎県産婦人科医会 ◇共催 宮崎県産科婦人科学会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県内科医会学 術講演会 ～認知症の早期発 見と診療連携につ いて考える～ (Web講習会) 9月17日(火) 19:00～20:10 ホテルJALシティ 宮崎2階「オルソ」 ※受講は現地また はWeb	MCI(軽度認知障害)診療の意義とレカネマブ治療にお ける診療連携について 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 准教授 塩見 一剛	29 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎080-5901-4284
宮崎県医師会産業 医研修会 9月18日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	看護・介護現場における腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	60 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 9月20日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	事業場におけるストレスと精神障害(1) 産業保健相談員 ウエダメンタルクリニック 院長 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度第12回 宮崎県輸血懇話会 (Web講習会) 9月21日(土) 13:30～16:30 宮崎県企業局県電 ホール ※受講は現地また はWeb	さあ、困った！こんな時どうする？ (副作用対応血漿製剤編) 県立宮崎病院 副院長 山下 清	7 (0.5)	◇主催 ※宮崎県赤十字血液センター ☎0985-50-3100 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県看護協会 宮崎県臨床検査技師会 日本・輸血細胞治療学会九州支部
	輸血用血液製剤の安全性と最近の話題について 日本赤十字社 血液事業本部 安全管理課長 日野 郁生	7 (0.5)	
	宮崎県北部エリアの「災害時輸血プランの共有」について 県立延岡病院 救急救命センター長 金丸 勝弘	14 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 9月24日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の実地研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和6年度特定行 為研修制度研修会 (Web講習会) 9月25日(水) 18:30～20:00 宮崎県防災庁舎73 号室 ※受講は現地また はWeb	特定行為看護師の活用と活動状況について 宮崎東病院 副院長 石山 雄一郎 他	10 (1.0)	◇主催 ※宮崎県福祉保健部医療政策課 ☎0985-26-7450

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
Miyazaki Women's Health Seminar 【女性医学×東洋医学】2回シリーズ (2回目) 9月26日(木) 19:00～20:00 KITEN 8階コンベンションホール 「大会議室」 ※受講は現地またはWeb	女性診療のための東洋医学入門 宮崎大学医学部附属病院 遺伝カウンセリング部 特別教授 山口 昌俊	83 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会東洋医会 ◇共催 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 (Web講習会) 10月2日(水) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル ※受講は現地またはWeb	当院におけるデュピクセントの使用経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 講師 西川 陽太郎	26 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎080-6778-6526 リジェネロン(株)
	蕁麻疹におけるIL-4とヒスタミンの役割 広島市立広島市民病院 病院長 秀 道広	26 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月9日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	自殺対策について 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 10月11日(金) 19:00～20:00 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	感染症専門医が考えるCOPDの診断と治療 長崎大学病院 呼吸器内科 助教 岩永 直樹	79 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アストラゼネカ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
日医かかりつけ医機能研修制度令和6年度応用研修会 10月13日(日) 10:00～17:10 宮崎県医師会館	かかりつけ医の糖尿病管理 東京医科大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 主任教授 鈴木 亮	76 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	栄養や口腔におけるかかりつけ医との連携 長崎リハビリテーション病院 栄養管理室 室長 西岡 心大 他	10 (1.0)	
	認知症の方への意思決定支援とプライマリケア 内田病院 理事長・医院長 田中 志子	29 (1.0)	
	リハビリテーションにおける医療と介護の連携 広島大学病院 リハビリテーション科 教授 三上 幸夫	13 (1.0)	
	かかりつけ医の脂質異常症管理 東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長・教授 吉田 博	75 (1.0)	
	かかりつけ医の高血圧症管理 琉球大学病院 病院長・教授 大屋 祐輔	74 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月16日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の实地研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第71回宮崎県ス ポーツ学会 10月19日(土) 15:00～18:30 宮崎大学医学部臨 床講義室205 参加費：1,000円	国スポ障スポに向けた宮崎県スポーツ協会認定ATの養 成と活動 リコンディショニングステーション宮崎 代表 尾崎 勝博 日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位	10 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	ハイパフォーマンススポーツにおけるトータルコンディ ショニング～アスレティックトレーナーの役割と活動～ 国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部門 リハビリテーション科 主任専門職 鈴木 章 日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位	19 (1.0)	
	女性アスリートの特徴と宮崎県における女性アスリ ート支援 県立日南病院 産婦人科 医長 明野 慶子 日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位	72 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第12回九州在宅医療推進フォーラム in MIYAZAKI (1日目) 10月19日(土) 14:00～17:30 宮崎県医師会館	ACPをみつめなおす 満岡内科クリニック(佐賀県) 院長 満岡 聡 他	2 (3.0)	◇主催 全国在宅療養支援医協会(九州ブロック) ◇共催 在宅医療助成勇美記念財団 日本在宅医療学会地方組織九州支部会 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 九州各県訪問看護ステーション連絡協議会 全国薬剤師・在宅療養支援 連絡会(九州沖縄ブロック) 宮崎市郡在宅医会 宮崎ケアケアネットワーク ◇後援 宮崎県 宮崎市 宮崎県医師会 宮崎市郡医師会 九州各県医師会 宮崎県薬剤師会 九州各県薬剤師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県医師会在宅医療協議会 宮崎県介護支援専門員連絡協議会 (連絡先)
第12回九州在宅医療推進フォーラム in MIYAZAKI (2日目) 10月20日(日) 9:00～13:00 宮崎県医師会館	ACPや緩和ケアを地域活動にどう落とし込み、どう広げるか くらしケアクリニック練馬(東京都) 院長 田上 恵太 他	2 (3.5)	第12回九州在宅医療推進 フォーラムinMIYAZAKI事務局 ☎0985-77-9106

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月22日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	上司が知っておくべき部下を輝かせるコミュニケーション力 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第207回宮崎県眼科 医会講習会 10月26日(土) 16:00～19:00 MRT micc「ダイヤ モンドホール」 参加費：3,000円	抗VEGF薬時代におけるファリシマブの処方ポジショニング 横浜市立大学附属市民総合医療センター 眼科 准教授 井上 麻衣子 ----- いまさら？これから？糖尿病黄斑浮腫の病態と治療 東京医科大学八王子医療センター 眼科 教授 志村 雅彦	36 (1.0) 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 中外製薬(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 10月30日(水) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
令和6年度宮崎県 プライマリ・ケア 研究会研修会 (Web講習会) 11月2日(土) 14:30～16:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	意外と多い社交不安症：疾患の理解と対応 宮崎大学医学部 看護学科 教授 吉永 尚紀	69 (1.5)	◇主催 宮崎県プライマリ・ケア研究会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
「皮膚の日」講演会 (Web講習会) 11月10日(日) 14:00～15:30 宮日会館11階ホール ※受講は現地またはWeb	タンパク質欲 ～私達が食べるほかのすべての栄養素に影響を及ぼす タンパク質の力～ 青木皮膚科 出盛 允啓	11 (1.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会・日本臨床皮膚科医会宮崎県支部 ◇共催 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 NHK 日本医師会 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011
宮崎県医師会産業 医研修会 11月20日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月26日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月27日(水) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	高ストレス者に対する面接指導のポイントや対応について 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

ご 案 内

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせの
うえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、開催案内は別途お送りいたします。

と き 令和6年11月3日(日)
と ころ ハイビスカスゴルフクラブ
宮崎市佐土原町大字下田島21085-1

(担当 総務課)

診療メモ



アイフレイルについて

県立宮崎病院 眼科 ^{いし あい みち たか}
石 合 理 崇

最近アイフレイルという言葉をよく耳にするようになりました。テレビCMなどもACジャパンの支援を得て盛んに放映されており、お見かけになった方も多いのではないでしょうか。

そもそも、加齢にともない身体のさまざまな機能が低下することによって健康障害に陥りやすい状態を表す「フレイル」という概念があります。つまりアイフレイルとは端的に言えば「加齢に伴う目の機能低下があり、初期から高度な視機能低下が起きる前の状態」です。アイフレイルを放置すると目の健康が損なわれるだけでなく、下記の図1のように、他のフレイルとも影響し合い相乗的にさらなる悪化を来し、自立した生活が困難になっていきます。

アイフレイルの状態から悪化させないため、多くの方にこの概念を知っていただくことで、目に関するトラブルを「歳のせい」にせず早期受診を勧奨していくのがアイフレイル啓発の狙いとなっています。そのために重要であるのが眼科検診を時々受けることと、自己チェックを行うことです。図2はアイフレイル自己診断用のチェックリストです。また、後述のQRコードで読み込めるアイフレイル啓発公式サイトではより詳しい自己チェックができるツールも用意されております。アイフレイルに対して自己チェックによる早期発見と早期治療が望まれる背景には、自覚症状が少なく進行してからでないと気づけない疾患が多いこと、さらに回復困



図1

難な障害を来す疾患が少なくないことが挙げられます。これは眼の構造的・機能的な理由が大きく関わっています。特に網膜に関して言えば、神経系の組織で不可逆的な障害を来しやすいのに、網膜の中心部（黄斑や中心窩）が障害されるまで症状が出現しにくく、両眼でみるとそれぞれ見えない部分をカバーし合うため片眼ずつチェックしなければ異常に気付くことが困難です。アイフレイルを来す網膜疾患で多くを占める糖尿病網膜症や加齢黄斑変性、緑内障は進行した状態で発見された場合、予後がどうしても厳しくなりがちです。逆に早期に加療できれば進行を抑えられる可能性がぐっと高まり、視機能が晩年まで十分維持できるようになります。

また、アイフレイルにはありふれた疾患である老眼や白内障も関わってきます。老眼に対しては、調節力を回復する手段はいまだなく治療は困難ですが、遠近両用ソフトコンタクトレンズなどの外部からサポートするデバイスの数は

年々増えています。また白内障も早期の治療が必ずしも必要ではありませんが、悪化すると視力低下のみならず認知機能の低下に関わっているとの報告もあり、適切な時期に手術加療を行うほうが望ましいと言えます。また白内障の手術時には選定療養であれば別途費用がかかりますが多焦点眼内レンズの使用が可能であり、老眼の症状を軽減させることもできます。

眼は日常生活から仕事、趣味に至るまでなくてはならないものです。アイフレイルについてぜひ知っていただき、早期発見、早期治療ができるよう患者様へご指導いただただけでなく、ご自身のこととしても関心を持っていただきたいと思います。下記QRコードまたはアドレスから公式サイトにアクセスが可能です。分かりやすくよいサイトになっていますので、ぜひご覧ください。

画像出典：アイフレイル啓発公式サイト
<https://www.eye-frail.jp/>

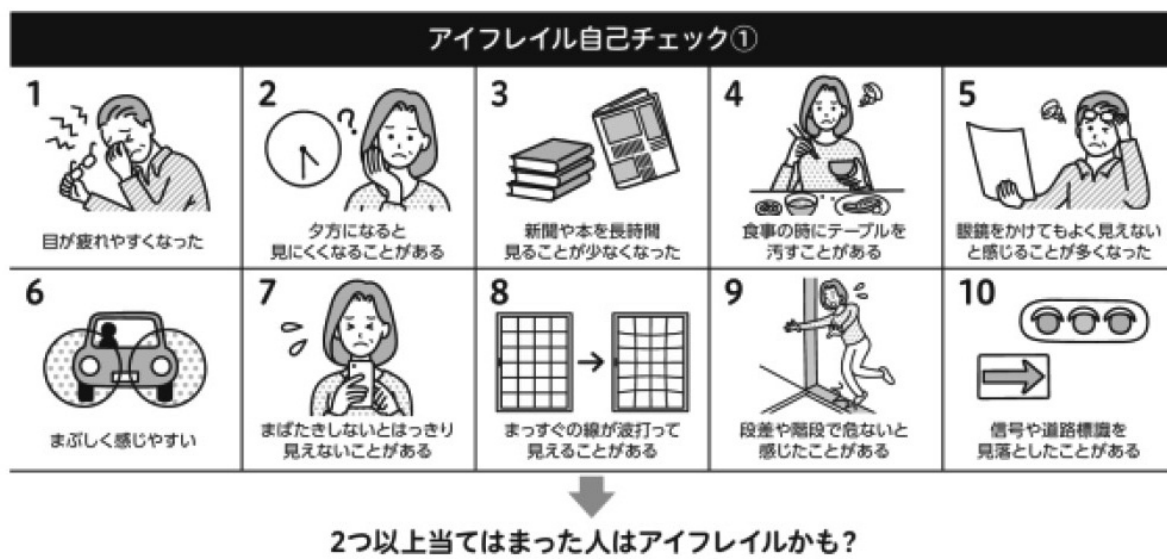


図2

宮大医学部学生のページ



早期大学病院実習の成果

宮崎大学医学部 医学科1年 ^{だい}大 ^{どう}道 モ モ

令和6年5月から6月にかけて、宮崎大学医学部医学科の1年生が参加した早期大学病院実習の成果についてご報告させていただきます。

この実習にあたって、事前に医療に関わるうえでの基本的な事項について計8回の講義から学習しました。その後、事前学習をふまえて一人ひとりが振り分けられた診療科、看護、中央診療施設の三部門を回り、得られた知見をグループごとに発表、共有しました。このたびは代表して私の学びをご報告いたします。

まず診療科実習では、形成外科で手術の見学をさせていただきました。幼少期から外科医を志していた私にとって手術室に入るその瞬間は、夢が現実変わったと言っても過言ではなく、今後の学習の大きなモチベーションとなりました。手術室では想像していたよりも多くのスタッフが忙しく動いており、さまざまな役割の方々の連携なしでは手術は成功しないということを学びました。特に今回見学した手術では、消化器外科の先生が形成外科の先生と同時に執刀しており、診療科をまたぐ連携を間近で見られたことも貴重な経験でした。創傷の治療を専門とする形成外科は、外科系の他科との関

わりが特に多いと伺いました。また、大変ありがたいことに、見学の最中にふと浮かんだ疑問をぶつけると、先生はお忙しい中にも関わらず丁寧に解説してくださいました。「この注射の意味は何ですか」「あの組織は何ですか」「どうしてこのように切開するのですか」など、いくつもの素人目線の疑問がすぐに解決されるのは、実習ならではのことで感じました。将来私が医師として学生に関わるときにも、同じように対応したいと強く思います。

次に看護実習では、精神科病棟で働く看護師の方々の業務を見学させていただきました。実習の最初に師長さんから「大学病院の精神科と市中病院の精神科では何が異なるでしょう」と質問されました。私は「重症度に違いがあるのではないかと予想しましたが、正解は「他の診療科にかかる必要のある疾病を併発しているかどうか」でした。大学病院の役割について考えるきっかけとなるやりとりでした。また、一日に多くの患者さんと接する看護師さんが、一切機械的になることなくケアを行っていたのがとても印象的でした。患者さんから直接聞く情報は大きな価値を持ちますが、それを上手く引

き出す看護師さんの会話技術は目を見張るものがあり、コミュニケーションの重要性を再認識させられました。精神科病棟では毎朝ラジオ体操を行っていますが、看護師の方々はその際に患者さんの様子を観察したり、そもそも参加しているかどうかを気かけたりして患者さんの状態を把握すると伺いました。私なら見逃してしまうようなコミュニケーション以外の部分からも治療に必要な情報を得ているのが衝撃的でした。

最後に中央診療施設実習では、難聴支援センターの業務を見学させていただきました。これまで難聴の方と関わる機会がなかった私には完全に新しい世界であり、理解の不足を実感しました。人工内耳を使っている6歳前後の患者さんと言語聴覚士の方のコミュニケーションは特に刺激的でした。十分な聴力を獲得してから間もない患者さんにとって、他者の発音を聞いて再現することは容易ではありません。すべての音を五十音に当てはめて理解してきた私にとって、理解が難しい感覚でした。しかしよく考えてみると「う」と「ゆ」を自分がどうやって区別したのか、見当もつきません。このように音の区別をつけることは言語の習得に大きく関与しますし、言語で思考する人間にとってその過程はとても重要です。それを支える言語聴覚士の方々のお仕事を学ぶことができたのは非常によい機会となりました。

多職種連携が重視される中、医師を目指す私たちはその他の医療系職種への理解を深める必要があります。1年生ということで医療の世界に足を踏み入れたばかりの私たちが、今後医療現場に関わることになる多くの職種の方々と接

する経験ができることには大きな意味があるように思います。

実習後の発表会を通して、学年全体の学びを総合することができました。実習前は形成外科と整形外科の違いすらわからなかった私が、形成外科について人前で発表できるようになったことと同様に、各々が実習を通じて大きく成長し、創意工夫を凝らした発表を行いました。もともと今回の実習の目標として掲げられたのは、

- ① 医療現場における各医療職種の役割とその重要性を理解すること
- ② 患者さんとのコミュニケーションの大切さを知ること

- ③ 医療人としてのマナーを習得すること

の3点でしたが、発表会では全員その目標を達成していたように思います。100人が異なるタイミングで異なる医療従事者、患者さんに関わったことで得られた経験は壮大なものであり、自身が実習していない部門の体験も吸収することができました。

今回は医学部に入って初めての实習ということで、学年一同気合を入れて臨みました。多くの学生が実習先について予習をし、準備をしたことで深い学びを得ることができました。この先、やる気に満ちていた今を忘れて惰性で過ごす日々が訪れるかもしれません。そのときには初心を思い出し、一つひとつの経験から最大限のことを吸収していきたいと思います。特に、多くの方々のご協力によって成り立つ実習のありがたみは深く心に刻んでおく必要があります。

最後になりますが、実習に協力してくださった医療従事者の皆様、患者様、スタッフの方々に心より感謝を申し上げます。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
8月2日	・日本医師会「地域に根ざした医師会活動プロジェクト」第3回シンポジウムについて ・日医医賠償保険付帯の医療通訳サービス活用推進に向けて（連絡） ・HPVワクチンのキャッチアップ接種に関する啓発資料について ・令和6年度報酬改定に対応した「科学的介護情報システム（LIFE）」の稼働開始のお知らせ ・令和6年介護サービス施設・事業所調査の協力依頼について ・令和6年度厚生労働省委託事業「地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業」における在宅医療の体制整備に関する相談窓口の設置について ・令和6年度厚生労働省委託事業「重症患者診療体制整備事業」におけるECMO・人工呼吸器管理研修の実施について ・夏期休暇の海外渡航者に対する感染症予防啓発について（協力依頼） ・本県における令和5年度の梅毒報告状況について（通知） ・オロブーシェ熱に関する情報提供及び協力依頼等について ・令和6年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）の開催について ・世界医師会（WMA）ヘルシンキ総会参加ツアーご案内の送付について ・「ハートシート」の保険診療上の取扱いについて ・オンラインによる返戻再請求（紙返戻終了）について ・令和6年7月25日からの大雨による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について
8月6日	・令和6年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について
8月9日	・令和6年度「防災週間」、「津波防災の日」及び「火災防災の日」について ・デジタル庁と共同開催！医療機関・薬局向けマイナ保険証利用促進セミナーの開催について（周知依頼） ・医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策の取組みについて（周知依頼） ・「老人福祉施設に係る指導監査について」等の正誤について ・「病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」及び「地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」について ・不妊治療に係る特掲診療料の施設基準について ・「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）診療の手引き2024年版」等の周知について ・手足口病に関する注意喚起について ・令和6年度（第75回）全国労働衛生週間に関する協力依頼について ・覚醒剤原料を指定する政令の一部を改正する政令の公布について（通知） ・令和6年7月25日からの大雨災害の被災者に関する既往歴等の提供について

送付日	文 書 名
8月16日	・日本医師会新会員情報管理システムMAMIS運用開始に向けた会員データ作成および提供のお願い（協力依頼） ・令和6年度全国学校保健・安全研究大会の開催について（通知） ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・2024年度がん征圧月間・禁煙ポスターの掲示について ・「かかりつけ医から専門医・専門医療機関への紹介基準」（日本腎臓学会作成 日本医師会監修）の更新について ・子宮頸がん予防ワクチンの接種促進に向けたテレビCMの放映について ・レボトルカプセル200mgの使用期限の取扱いについて
8月20日	・若年性認知症の方を中心とした介護サービス事業所における地域での社会参加活動の実施について（再周知）（情報提供） ・介護保険における福祉用具の選定の判断基準について ・介護サービス事業者経営情報の調査及び分析等に関する制度について ・令和6年度地域支援事業実施要綱等の改正点について、「市町村向け介護予防ケアマネジメントを効果的に推進するための手引き」について（周知） ・科学的介護情報システム（LIFE）第1回説明会の実施について ・科学的介護情報システム（LIFE）研修会の周知について ・HPVワクチンのキャッチアップ接種等に係る周知のための広報資材等について ・「過労死等の防止のための対策に関する大綱」の変更に当たっての周知・啓発に向けたお願いについて（協力依頼） ・「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正等について ・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について ・令和6年度「自殺予防週間」における啓発活動等の推進について ・地域医療構想における推進区域及びモデル推進区域の設定等について ・令和6年度第1回医療政策研修会の開催について ・「病原微生物検出情報」の送付について
8月27日	・医療情報取得加算及び医療DX推進体制整備加算の取扱いについて ・「Good Sleepガイド（ぐっすりガイド）」の公表について ・長期収載品の処方等又は調剤の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その2）
8月30日	・新興感染症対策研修への補助について ・新興感染症に対する医療提供体制調整業務への補助について ・世界的なポリオ根絶に向けた、不必要なポリオウイルスの廃棄について ・急性弛緩性麻痺の情報提供について ・エムボックスに関する情報提供及び協力依頼について ・職場における熱中症予防対策の徹底について ・リソカブタゲン マラルユーセルの最適使用推進ガイドラインの一部改正について ・ウロナーゼ静注用6万単位及びウロナーゼ冠動注用12万単位の使用期限の取扱いについて（周知）

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内
月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき

医師は高級腕時計を身に着けていらっしゃる方が多いです。やはりメジャーなのはロレックスでしょうか。オメガやカルティエ、グランドセイコーなども目にします。その資産性から「ロレックス投資」をしている医師もいます。私が医師になった20数年前にはロレックスはそこまで高価というわけではなく、100万円を超すモデルはほとんどありませんでした。家電量販店など、割とどこにでも売られており、現在のように定価よりも売却価格が高いということはなかったです。若手はオメガのスピードマスターやシーマスター、専門医を取得する30代ごろからロレックスのスポーツモデル（エクسプローラーやサブマリーナーなど）を着用していた人が多かった記憶があります。初めてロレックスを買ったとき（ヤフオクで50万円くらいでした）には、指導医から「そんな下品な時計ではなく、せめてグランドセイコーくらい着けなさいよ」などと言われたものです。隔世の感があります。当時はヤフオク（ヤフーオークション）が全盛期であり、当直時などによく眺めていました。ロレックスはサブマリーナー、GMTマスター、デイトナなどをヤフオクで売買していました。飽きたら換えるといった感じでした。開業時に売り払って今は便利なスマートウォッチを愛用しています。現在世界で一番売れている時計はアップルウォッチだそうです。学会や医師会の会合の際には先生方の高級腕時計を拝見するのが楽しみだったりします。（國枝）

* * * * *

8月8日16時43分の日向灘地震の際は皆様どう行動されましたでしょうか。私は来院患者、院内施設に被害がないことを確認後、すぐに診察室から自宅ヘダッシュ（10秒）、水槽が割れていないことを確認、一安心。しかし中の水が飛び出して水量が2/3に減っており、周囲がびしょびしょ。床にタオルを放り投げ診療に戻る事態でした。今後、どう対応したのでしょうか？（菊池）

* * *

還暦のお祝いに息子が折り畳み自転車をプレゼントしてくれました。防犯登録をするようにと言われたので、ある自転車専門店で問い合わせしてみました。息子がネット通販で購入した自転車なので大丈夫かなとは思ったのですが、他店に当たってくれと言われました。宮崎市の自転車購入補助の影響でいつ対応できるかわからないとのことでした。そこで近くのホームセンターに尋ねてみたら即OK、短時間で処理してくれました。参考までに。（下窪）

* * *

埼玉県所沢市のペルーナドームにライオンズ戦を観戦してきました。南郷キャンプをきっかけに、ライオンズファンになり応援していますが、今シーズンは最下位に低迷し厳しい戦いが続いています。首位ホークスと厳しい試合になるだろうと予想していましたが、4対1で見事勝利しました。息子と栃木から駆けつけてくれた妻のお父さんと3人で喜びを分かち合いながら楽しい夏のひとときを過ごすことができました。遠いですけど、またホーム球場に足を運んで応援したいと思います。（高村）

医師は高級腕時計を身に着けていらっしゃる方が多いです。やはりメジャーなのはロレックスでしょうか。オメガやカルティエ、グランドセイコーなども目にします。その資産性から「ロレックス投資」をしている医師もいます。私が医師になった20数年前にはロレックスはそこまで高価というわけではなく、100万円

お盆に祖母の家へ行きました。夏に行くのは久しぶりで、猛暑を覚悟していました。ところが、夜は少し肌寒いくらいで昼間のクーラーが要らないほど涼しい日もあり、驚きました。標高は実家と変わらないはずですが、こんなにも違うのはなぜかと不思議でした。もしかしたら、祖母の家の近くは自然が豊かなので、気温が低くなるのかもしれませんが。だとすると、自然がいかに素晴らしいか、守るべきもののなか、と痛感させられます。（金城）

* * *

4年生後期から開始するPre-CC OSCEのための試験が8月末、9月中旬に行われます。実習に出るための最後の関門で、4年間で学んだすべてを試されるので、夏休みと言いながら勉強漬けの日々を過ごしています。西医体もお盆の時期に開催されるため体も頭もヘトヘトですが、医師として働き出すとこんなものでは済まないでしょうから、忙しさに慣れながらさまざまな行事を楽しんでいきたいです。（宮本）

* * *

6月から広報委員会担当理事になりました。他者の書いた文章を校正・校閲する行為は、重責を伴う作業です。皆さまからお預かりする文章の一文、一単語そしてその行間には、その著者の想いが込められています。編集委員のメンバーは、その想いを損なうことがないように細心の注意を払いながら校正・校閲を行っています。読者の皆さんが読みやすいように、そして何より、著者に「校正・訂正してもらってよかった」と思ってもらえるように日州医事の編集を行っているということをご理解いただければ幸いです。（田畑）

今月のトピックス

会長のページ 高齢者免許

世間では高齢者の運転免許の返納が奨励されていますが、交通インフラが充実していない地域では困りますよね。返納しても困らない優しい宮崎になってほしいものです。 3 ページ

日州医談 永遠の今でつながる地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムを深化するうえで、患者・医療者・関係者お互いの感謝、信頼が大事であると金丸先生は述べられています。共感いたします。 4 ページ

身近なお困りごと相談室

よかれと思ってしたことで逆恨みされてはたまったものではないですよ。こういった知識、一度聞いておくためになります。 17ページ

宮大医学部学生のページ 早期大学病院実習の成果

医学科1年の大道さんが初々しく書かれています。初心を忘れないようにしたいです。皆さんもあこのころの自分を思い出してみてください。 74ページ

(文責：石田 康行)

日 州 医 事 第901号 (令和6年9月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail: office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,
國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 金城 由歩, 境 笙太郎, 家村 和奈, 宮本貴由樹

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)